

②平成 29 年度の
各構成員の取組内容・実施状況

〇令和5年度で実施する取組

具体的取組		目標時期	実施する機関		
重点的な取組			龍ケ崎市		
ソフト対策の主な取組					
(1) 逃げ遅れを防ぐに資する迅速かつ適切な避難行動のための取組					
1-1	・沿川市町：想定最大規模降雨における洪水を対象に基準の見直しについて検討する。 ・沿川市町以外：洪水浸水想定区域に基づく(避難の発令対象区域を設定。また、必要に応じて避難の発令基準を修正	平成28年度から順次実施	地域防災計画において、小貝川・利根川洪水避難計画を策定し、避難の発令基準、対象区域を位置づけた。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 ・小貝川・利根川洪水避難計画において、避難の発令名称が変更になったため修正をした。 ・指定最大規模洪水地域の改定に伴い、ハザードマップを修正した(H30.4公表予定)。 【取組実施上の課題】	【取組内容】 ・小貝川・利根川洪水避難計画において、避難の発令名称が変更になったため修正をした。 ・指定最大規模洪水地域の改定に伴い、ハザードマップを修正した(H30.4公表予定)。 【取組実施上の課題】
	・沿川市町：ロールプレイ等による検討を行いながらタイムラインの見直しを行う。 ・沿川市町以外：避難動向に着目したタイムラインの作成	平成28年度から順次実施	避難対象住民等の意見を聴取し、タイムラインに基づく避難訓練の検討会にて整理し、検証を行っていく。【検討会実施済み。検証については平成28年度から順次実施】	【取組内容】 ・策定済みのタイムラインの見直しを行った。(H29.12) ・水害対策本部設置・訓練の実施(H30.2) ・県が管理している中小河川についてタイムラインに反映するために、茨城県電機工事事務所の枠を設ける。	【取組内容】 ・策定済みのタイムラインの見直しを行った。(H29.12) ・水害対策本部設置・訓練の実施(H30.2) ・県が管理している中小河川についてタイムラインに反映するために、茨城県電機工事事務所の枠を設ける。
1-3 1-4 1-5	・広域避難計画の検討、策定や避難経路に関する検討、防災訓練などの機会を通じ避難場所の住民への周知を図る。	平成28年度から順次実施	現在、小貝川・利根川洪水避難計画を策定中。【平成29年度から順次実施】 ・指定避難場所の指定避難所までの避難経路を定める。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】
	・沿川市町：想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、汎害シミュレーションの公表	平成28年度から順次実施	現在、小貝川・利根川洪水避難計画を策定中。【平成29年度から順次実施】 ・指定避難場所の指定避難所までの避難経路を定める。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】
1-6	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、汎害シミュレーションの公表	平成28年度から順次実施	現在、小貝川・利根川洪水避難計画を策定中。【平成29年度から順次実施】 ・指定避難場所の指定避難所までの避難経路を定める。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】
1-7	・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手の易さサポート)	平成28年度から順次実施	雨の降り方が変化していること等を踏まえた防災・減災対策の取組について	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】
1-8	・想定最大外力を反映した洪水ハザードマップの作成、住民への周知	平成28年度から順次実施	計画規模の外力を対象とした洪水ハザードマップの作成、住民への周知について	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】
1-9	・防災意識向上に関する資料等の作成による広報の推進	平成28年度から順次実施	水防防災意識向上に関する資料(提示用のパネル等)を作成する。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】
1-10	・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	平成28年度から順次実施	水災害に関する住民からの問い合わせへの対応について	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】
1-11	・水防に関する説明会の開催	平成28年度から順次実施	水防に関する住民からの問い合わせへの対応について	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】
1-12	・小中学校における防災教育の促進	平成28年度から順次実施	小中学校における防災教育の実施について	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】
1-13	・教員を対象とした講習会の実施	H29年度から順次実施	今後、教職員向けの講習会の実施を教育委員会と調整する。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】
1-14	・避難誘導体制の構築	H29年度から順次実施	小貝川・利根川洪水避難計画策定後、計画に基づいた訓練を行い、検証を行っていく。また、前計画策定に併せ、前計画三条市等のハザードマップを参考にまとめることとハザードマップを拡充予定。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】
1-15	・避難誘導体制の充実	H29年度から順次実施	小貝川・利根川洪水避難計画策定後、計画に基づいた訓練を行い、検証を行っていく。また、前計画策定に併せ、前計画三条市等のハザードマップを参考にまとめることとハザードマップを拡充予定。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】
1-16	・避難誘導体制の充実	H29年度から順次実施	小貝川・利根川洪水避難計画策定後、計画に基づいた訓練を行い、検証を行っていく。また、前計画策定に併せ、前計画三条市等のハザードマップを参考にまとめることとハザードマップを拡充予定。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】
1-17	・避難誘導体制の充実	H29年度から順次実施	小貝川・利根川洪水避難計画策定後、計画に基づいた訓練を行い、検証を行っていく。また、前計画策定に併せ、前計画三条市等のハザードマップを参考にまとめることとハザードマップを拡充予定。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】
1-18	・避難誘導体制の充実	H29年度から順次実施	小貝川・利根川洪水避難計画策定後、計画に基づいた訓練を行い、検証を行っていく。また、前計画策定に併せ、前計画三条市等のハザードマップを参考にまとめることとハザードマップを拡充予定。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】
1-19	・避難誘導体制の充実	H29年度から順次実施	小貝川・利根川洪水避難計画策定後、計画に基づいた訓練を行い、検証を行っていく。また、前計画策定に併せ、前計画三条市等のハザードマップを参考にまとめることとハザードマップを拡充予定。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】
1-20	・避難誘導体制の充実	H29年度から順次実施	小貝川・利根川洪水避難計画策定後、計画に基づいた訓練を行い、検証を行っていく。また、前計画策定に併せ、前計画三条市等のハザードマップを参考にまとめることとハザードマップを拡充予定。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】
1-21	・避難誘導体制の充実	H29年度から順次実施	小貝川・利根川洪水避難計画策定後、計画に基づいた訓練を行い、検証を行っていく。また、前計画策定に併せ、前計画三条市等のハザードマップを参考にまとめることとハザードマップを拡充予定。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】
1-22	・避難誘導体制の充実	H29年度から順次実施	小貝川・利根川洪水避難計画策定後、計画に基づいた訓練を行い、検証を行っていく。また、前計画策定に併せ、前計画三条市等のハザードマップを参考にまとめることとハザードマップを拡充予定。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】	【取組内容】 ・H29年度中に小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行った際、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定めた。 【取組実施上の課題】

〇概ね5年で実施する取組

実施する取組			目標時期	実施する機関	
実施する取組				取組内容	H29年度までの実施状況
実施する取組				取組内容	H29年度までの実施状況
(2)洪水災害による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取り組み				取組内容	H29年度までの実施状況
2-1	・水防に関する広報の推進	水防に関する広報の実施について	引き続き実施	【取組内容】 要望により事前講座や説明会、防災訓練等の機会を通じて水防について説明している。また、水防の啓発ポスターの掲示も実施している。 【取組実施上の課題】	【取組内容】 要望により事前講座や説明会、防災訓練等の機会を通じて水防について説明している。また、水防の啓発ポスターの掲示も実施している。 【取組実施上の課題】
2-2	・水防(防災)訓練の実施	水防訓練の実施について	引き続き実施	【取組内容】 消防団による訓練を毎年出水期に実施している。 【取組実施上の課題】	【取組内容】 消防団による訓練を出水期に実施した。 【取組実施上の課題】
2-3	・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	水防団への連絡体制の再確認や伝達訓練の実施について	引き続き実施	【取組内容】 災害対策本部から水防団(消防団)への連絡体制を定めており、情報提供を実施している。 【取組実施上の課題】	【取組内容】 災害対策本部から水防団(消防団)への連絡体制を定めており、情報提供を実施している。 【取組実施上の課題】
2-4	・隣接市町合同による水防訓練の取組を推進	利根川が決壊した場合、広域的な浸水となりますが、水防訓練を隣接市町と合同で行うなどの取組の実施について	H29年度から順次実施	【取組内容】 「災害時等の相互応援に関する協定書」を県内市町村と締結済み。H28年度中に利根川流域消防本部管内市町村と災害時相互応援に関する協定締結を予定しているが、訓練については検討を行う。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 二組合水防訓練を実施した。(H29.5) 【取組実施上の課題】
2-5	・広域的な水防支援体制を推進	利根川下流域の破壊箇所によっては、一市町又は一水防事務組合の範囲を超えることが想定されますが、そのような場合の取組について	H32年度	【取組内容】 利根川下流域の破壊箇所においては、相互応援に関する協定を締結している。また、広域避難計画を実施した。 【取組実施上の課題】	【取組内容】 利根川下流域の破壊箇所においては、相互応援に関する協定を締結している。また、広域避難計画を実施した。 【取組実施上の課題】
2-6	・広域化、長期化する水防活動も視野に入れ、避難区間・頻度・内容の明確化を図る	水防警報発令後の避難区間・頻度・内容について	H28年度から順次実施	【取組内容】 今後の状況に応じて避難区間及び避難頻度についても調査を図る。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 利根川については、後述していないため、避難区間の策定はしていないが、小貝川において避難については水防団による避難を活動ごとに区分けしたものを小貝川・利根川避難計画の中で明記している。 【取組実施上の課題】
2-7	・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定の促進	内水に対する水防活動以外に利根川の水防活動の実施について、また、水防協力団体の募集、指定についての広報の実施について	引き続き実施	【取組内容】 水防活動には、水防団の拡充が不可欠であり、市公民館ホームページや防災委員会の広告により、周知を行う。【実施済み】	【取組内容】 水防団員の募集は定期的に実施しているが、水防協力団体の募集はポスターを掲示しているのみ。また、水防団員は内水対応で手一杯であり、利根川の水防活動は困難な状況。そのため、利根川・河内町との連携を取っている。 【取組実施上の課題】
2-8	・沿川市町：毎年、水防団や地域住民が参加し、洪水特性を考慮した水害リスクの高い箇所を重点的に実施する。沿川市町外：水害リスクの高い地域への訓練実施の呼びかけや防災啓発の場で住民等へ周知を図る。	水害リスクの高い箇所に関して水防団や地域住民との情報共有について	H28年度から順次実施	【取組内容】 浸水想定区域内の多くの住民に対し、毎年河川事務所が実施する共同点検等の周知を図り、参加を推進する。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 利根川下流河川事務所、下館河川事務所が行う共同点検への参加を推進している。 【取組実施上の課題】
2-9	・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	水防活動への重機使用等、建設会社の支援に関する協定の締結について	H28年度から順次実施	【取組内容】 現在、建設業組合との間で協定を結んでいるが、適宜協定の拡充を検討する。【実施済み】	【取組内容】 市建設業組合との間で風水害等の緊急対策を含む災害協定を結んでおり、小貝川・利根川洪水避難訓練に参加していただいている。 【取組実施上の課題】
2-11	・水害BCP策定に向けた検討	水害BCP(事業継続計画)の作成について	H32年度	【取組内容】 現在策定済みの地震災害BCPの計画に基づき、水災等について、一部追加・改訂を行う。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 BOPの中間評価を確保するための計画をH28年度に策定し、H29年度も引き続き活用。 【取組実施上の課題】
2-12	・洪水や氾濫の特性も考慮した内容の広域化を想定した対応マニュアルの作成	洪水時の庁舎等の機能確保のための対応マニュアルについて	H32年度	【取組内容】 機能確保マニュアルについて、検討を行う。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 浸水した場合の災害対策本部移転について計画化を検討。 【取組実施上の課題】
2-13	・大規模工場等への浸水リスクと水害対策等の周知活動の実施	大規模工場等へ浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動の実施について	H32年度	【取組内容】 浸水ハードマップ内に大規模工場等はないが、浸水想定区域内の企業に対しての啓発活動については検討を行う。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 浸水想定区域内に大規模工場などの該当無し。 【取組実施上の課題】
2-14	・自衛水防を説明会等により市民へ周知	自治会等の自衛水防に関する周知について	H29年度から順次実施	【取組内容】 現在行っていないが、自主防災組織、防災士の活用を検討する。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 川原地区においてマイタイムライン作成講座を実施し、住民の自主防災組織における自主避難の周知を行った。(H29.11)また、利根川地区において災害・避難カードの講座を実施した。(H29.12) 【取組実施上の課題】 今後は、マイタイムラインと災害・避難カードを組み合わせた講座を市内各地区において実施し、住民の自助の体制を確立する。
(3)一帯も早い生活再建及び社会経済活動の回復を促進するための排水活動の取り組み			H32年度	【取組内容】 小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行い、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定める。 【取組実施上の課題】 利根川下流河川事務所、下館河川事務所との連携を取る。	【取組内容】 小貝川・利根川洪水避難計画の見直しを行い、浸水想定区域対象地区の指定避難所までの避難経路を定める。 【取組実施上の課題】 利根川下流河川事務所、下館河川事務所との連携を取る。
3-1	・河川に近接し特性も考慮した氾濫を迅速に排水するための、排水施設情報の共有・排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	利根川利根川川の樋門等閉鎖による内水被害の軽減を図るための排水計画の作成について		【取組内容】 排水計画については、今後国土交通省より提出される想定最大規模を想定した氾濫・シミュレーション公表後、排水計画の検証及び改訂・検討を行う。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 浸水想定箇所が懸念される。 利根川下流河川事務所、下館河川事務所との連携を取る。
3-2	・河川に近接し特性も考慮した氾濫を迅速に排水するための、排水施設情報の共有・排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	利根川利根川川の樋門等閉鎖による内水被害の軽減を図るための排水計画の作成について		【取組内容】 浸水想定箇所が懸念される。 利根川下流河川事務所、下館河川事務所との連携を取る。	【取組内容】 浸水想定箇所が懸念される。 利根川下流河川事務所、下館河川事務所との連携を取る。
3-3	・河川に近接し特性も考慮した氾濫を迅速に排水するための、排水施設情報の共有・排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	利根川利根川川の樋門等閉鎖による内水被害の軽減を図るための排水計画の作成について		【取組内容】 浸水想定箇所が懸念される。 利根川下流河川事務所、下館河川事務所との連携を取る。	【取組内容】 浸水想定箇所が懸念される。 利根川下流河川事務所、下館河川事務所との連携を取る。
3-4	・排水計画に基づく排水訓練の実施	排水計画に基づく排水訓練の実施について		排水訓練については、担当課と協議・検討する。【実施済み】	【取組内容】 計画は策定済み。排水訓練については各排水施設管理者等により各々で実施等を行っている。大雨等を想定し市内の排水ポンプや樋門等の点検等を実施している。 【取組実施上の課題】
■ハード対策の主な取組			H32年度	【取組内容】 H28年度中に音声一斉配信サービスを導入予定。 H32年～34年にかけて防災無線のデジタル化を予定。 地区防災計画の策定。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 H28年度中に音声一斉配信サービスを導入予定。 H32年～34年にかけて防災無線のデジタル化を予定。 地区防災計画の策定。【平成28年度から順次実施】
4-1	・優先的に実施する堤防整備	優先的に実施する堤防整備について		【取組内容】 H28年度中に音声一斉配信サービスを導入予定。 H32年～34年にかけて防災無線のデジタル化を予定。 地区防災計画の策定。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 H28年度中に音声一斉配信サービスを導入予定。 H32年～34年にかけて防災無線のデジタル化を予定。 地区防災計画の策定。【平成28年度から順次実施】
4-1	・優先的に実施する堤防天端の保護	優先的に実施する堤防天端の保護について		【取組内容】 H28年度中に音声一斉配信サービスを導入予定。 H32年～34年にかけて防災無線のデジタル化を予定。 地区防災計画の策定。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 H28年度中に音声一斉配信サービスを導入予定。 H32年～34年にかけて防災無線のデジタル化を予定。 地区防災計画の策定。【平成28年度から順次実施】
4-1	・優先的に実施する堤防天端の保護	優先的に実施する堤防天端の保護について		【取組内容】 H28年度中に音声一斉配信サービスを導入予定。 H32年～34年にかけて防災無線のデジタル化を予定。 地区防災計画の策定。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 H28年度中に音声一斉配信サービスを導入予定。 H32年～34年にかけて防災無線のデジタル化を予定。 地区防災計画の策定。【平成28年度から順次実施】
4-1	・優先的に実施する堤防天端の保護	優先的に実施する堤防天端の保護について		【取組内容】 H28年度中に音声一斉配信サービスを導入予定。 H32年～34年にかけて防災無線のデジタル化を予定。 地区防災計画の策定。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 H28年度中に音声一斉配信サービスを導入予定。 H32年～34年にかけて防災無線のデジタル化を予定。 地区防災計画の策定。【平成28年度から順次実施】
(2)避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備			H32年度	【取組内容】 H28年度中に音声一斉配信サービスを導入予定。 H32年～34年にかけて防災無線のデジタル化を予定。 地区防災計画の策定。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 H28年度中に音声一斉配信サービスを導入予定。 H32年～34年にかけて防災無線のデジタル化を予定。 地区防災計画の策定。【平成28年度から順次実施】
4-1	・簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置		【取組内容】 H28年度中に音声一斉配信サービスを導入予定。 H32年～34年にかけて防災無線のデジタル化を予定。 地区防災計画の策定。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 H28年度中に音声一斉配信サービスを導入予定。 H32年～34年にかけて防災無線のデジタル化を予定。 地区防災計画の策定。【平成28年度から順次実施】
1-17	・円滑かつ迅速な避難に資する施設(ハード)整備	住民等への情報伝達手段の整備について		【取組内容】 H28年度中に音声一斉配信サービスを導入予定。 H32年～34年にかけて防災無線のデジタル化を予定。 地区防災計画の策定。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 H28年度中に音声一斉配信サービスを導入予定。 H32年～34年にかけて防災無線のデジタル化を予定。 地区防災計画の策定。【平成28年度から順次実施】
2-10	・迅速な水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材の検討、配備や地域防災計画に基づく水防資機材等の配備、維持管理	利根川下流域の利根川利根川の水防活動必要区間延長は長く、限られた水防団員による水防活動においては、新技術を活用した水防資機材が有効と考えます。新技術を活用した水防資機材や、水防資機材の配備について		【取組内容】 水防団の安全を確保するための資機材(ライフジャケット等)を確保済み。また、新技術を用いた水防資機材については利根川水系連合・総合水防演習等において水害工法を水防団員が実施。 【取組実施上の課題】	【取組内容】 水防団の安全を確保するための資機材(ライフジャケット等)を確保済み。また、新技術を用いた水防資機材については利根川水系連合・総合水防演習等において水害工法を水防団員が実施。 【取組実施上の課題】
2-15	・氾濫形態に応じた排水施設の耐水化、庁舎の耐水対策の実施	排水施設の耐水化、庁舎等の重要施設の耐水対策について		【取組内容】 H28年度に自家発電設備のかさ上げを実施した附属棟庁舎を設立し、災害対策本部の設置場所とした。 【取組実施上の課題】 最大想定規模500mm未満の浸水をした際の災害対策本部の移転が必要であり、計画が必要。	【取組内容】 H28年度に設立した附属棟庁舎を災害対策本部の設置場所として引き続き実施。 【取組実施上の課題】 最大想定規模500mm未満の浸水をした際の災害対策本部の移転が必要であり、計画が必要。

(1)逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取り組み		

具体

■ハード対策の主な取り組み

事項

[illegible]

〇概ね5年で実施する取組

具体的取組		目標時期	実施する機関	
(2)洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組			取組内容	H29年度までの実施状況
2-1	・水防に関する広報の推進 水防に関する広報の実施について	引き続き実施	水防に関する広報の推進。【実施済み】	【取組内容】 水防訓練により、水防の役割、大切さを説明。 【取組実施上の課題】
2-2	・水防(防災)訓練の実施 水防訓練の実施について	引き続き実施	4年に1回を基準に実施していく。【実施済み】	【取組内容】 年数回実施している。 【取組実施上の課題】
2-3	・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施 水防団への連絡体制の再確認や伝達訓練の実施について	引き続き実施	水防団への連絡体制の再確認を行う。28年度で配備した携帯型無線機等の通信訓練等を行っていく【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 河川水位等に係る情報提供を連絡体系を基に実施している。 【取組実施上の課題】
2-4	・隣接市町合同による水防訓練の取組を推進 利根川が決壊した場合、広域的な浸水となりますが、水防訓練を隣接市町と合同で行うなどの取組の実施について	H29年度から順次実施	「災害時等の相互応援に関する協定書」を県内市町村と締結済み。H28年度中に市町村、広域消防本部管内市町村と災害時相互応援に関する協定締結を予定しているが、訓練については検討を行う。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 利根川水防訓練で実施済み。 【取組実施上の課題】
2-5	・広域的な水防支援体制を推進 利根川下流域の破壊箇所によっては、一市町又は一水防事務組合の範囲を超えることが想定されますが、そのような場合の取組について	H32年度	広域的な事務組合相互の水防活動について支援体制の推進・連携強化を図る。【平成28年度から実施】	【取組内容】 広域避難に関する連絡体制を構築済み。 【取組実施上の課題】
2-6	・広域化、長期化する水防活動も視野に入れ、巡視区間・頻度・内容の明確化を図る 水防警報発令後の巡視区間・頻度・内容について	H28年度から順次実施	今後の状況に応じて巡視頻度及び巡視内容についても調整を図る。【平成28年度から実施】	【取組内容】 地域防災計画に河川巡視の必要となる区間を位置づけている(頻度に関しては明記無し)。 【取組実施上の課題】
2-7	・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定の促進 内水に対する水防活動以外に利根川の水防活動の実施について。また、水防協力団体の募集、指定についての広報の実施について	引き続き実施	水防活動には、水防団の拡充が不可欠であり、市公式ホームページや団員募集の広告により、周知を行う。【実施済み】	【取組内容】 水防団員の募集を定期的に実施している。 【取組実施上の課題】
2-8	・沿川市町：毎年、水防団や地域住民が参加し洪水特性を考慮した水害リスクの高い密市の共同点検の実施 沿川市町外：水害リスクの高い地域への訓練実施の呼びかけや防災啓発の場で住民等へ周知を図る。	H28年度から順次実施	浸水想定区域内の多くの住民に対し、毎年河川事務所が実施する共同点検等の周知を図り、参加を推進する。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 住民を含めた共同点検を実施している。 【取組実施上の課題】 一部住民のみが対象になっている。
2-9	・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築 水防活動への重機使用等、建設会社の支援に関する協定の締結について	H28年度から順次実施	現在、建設業組合との間で協定を結んでいるが、適宜協定の拡充を検討する。【実施済み】	【取組内容】 建設業協会はできていないが、地元業者と個別に締結している。 【取組実施上の課題】
2-11	・水害BCP策定に向けた検討 水害BCP(事業継続計画)の作成について	H32年度	現在策定済みの地震災害BCPの計画に基づき、水災害について、一部追加・改訂を行う。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 水害BCPを今後策定予定。 【取組実施上の課題】 事例や手順書があると助かる。
2-12	・洪水や氾濫の特性も考慮した内容の氾濫を想定した対応マニュアルの作成 洪水時の庁舎等の機能確保のための対応マニュアルについて	H32年度	機能確保マニュアルについて、検討を行う。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 危機管理計画を現在検討中である。支所の庁舎のみが浸水区域内にあるため、今後検討予定。 【取組実施上の課題】
2-13	・大規模工場等への浸水リスクと水害対策等の周知活動の実施 大規模工場等へ浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動の実施について	H32年度	洪水ハザードマップ内に大規模工場等はないが、浸水想定区域内の企業に対しての啓発活動については検討を行う。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 浸水想定区域内に大規模工場用地なし。 【取組実施上の課題】
2-14	・自衛水防を説明会等により市民へ周知 自治会等の自衛水防に関する周知について	H29年度から順次実施	現在行っていないが、自主防災組織、防災士の活用を検討する。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 土のう製作の訓練を住民自らで実施した。 【取組実施上の課題】
(3)一帯も早期生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組				
3-1 3-2 3-3	・河川に近い特性も考慮した氾濫水等迅速に排水するための、後方施設情報の共有・排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成 利根川本川支川の樋門等閉断による内水積滞の発生に懸念について	H32年度	排水計画については、今後国土交通省より提出される浸水想定区域図、水害シミュレーション公表後、排水計画の検証及び改訂の検討を行う。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 広域的な避難ルートを検討済みであるが、危機管理計画には未反映である。 【取組実施上の課題】 浸水常態箇所が懸念される。 【取組実施上の課題】
3-4	・氾濫水をより迅速に排水するための排水計画の作成について 排水計画に基づく排水訓練の実施について	H32年度	排水計画については、担当課と協議・検討する。【実施済み】	【取組内容】 排水計画作成には至っていない。これまで通り、排水作業従事者に依頼している。 【取組実施上の課題】 訓練は実施していない。 【取組実施上の課題】
■ハード対策の主な取組				
(1)洪水を河川内で安全に流す対策、危機管理型ハード対策				
4-1	・優先的に実施する堤防整備 優先的に実施する堤防整備について	H32年度		
4-1	・優先的に実施する堤防天端の保護 優先的に実施する堤防天端の保護について	H32年度		
(2)避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備				
4-1	・簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置 雨量・水位等の観測データ及び洪水等の状況を把握・伝達するための基盤の整備	H32年度		
1-17	・円滑かつ迅速な避難に資する施設(ハード)整備 住民等への情報伝達手段の整備について	H32年度	H28年度中に音声一斉配信サービスを導入予定。 H32年～34年にかけて防災無線のデジタル化を予定。 地区防災計画の策定。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 防災行政無線や緊急連絡メール、防災メール等により市民・関係機関への情報提供を実施している。 【取組実施上の課題】
2-10	・迅速な水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材の検討、配備や地域防災計画に基づく水防資機材等の配備、維持管理 利根川下流域の利根川本川の水防活動必要区間延長は長く、限られた水防団員による水防工法においては、新技術または省力化された水防工法が有効と考えます。新技術を活用した水防資機材や、水防資機材の配備について	引き続き実施	水防活動に効果的な資機材の情報を収集し、資機材の有効性に応じて配備を検討する。水防管理団体と協議、検討を行う。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 水防資機等に土のう袋や防水シート等の水防資機材を備蓄しており、災害時には確保資材量で対応することを想定している。新技術を活用した水防資機材の導入に向けた検討を行っているため、課題等はない。 【取組実施上の課題】
2-15	・氾濫形態に応じた排水施設の耐水化、庁舎の耐水対策の実施 排水施設の耐水化、庁舎等の重要施設の耐水対策について	H32年度	BCPの水災害対応計画に基づき検討する。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 支所は今後検討予定である。 【取組実施上の課題】

〇概ね5年で実施する取組

具体的な取組の仕 方・手段			目標時期	取組内容	神奈川 市	
具体的取組					H29年度までの実施状況	
(2)洪水被害による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組み					H29年度の実施状況	
2-1	・水防に関する広報の推進	水防に関する広報の実施について	引き続き実施	水防に関する広報の推進。【実施済み】	【取組内容】 水防の啓発ポスターの掲示等を実施している。 【取組実施上の課題】	水防の啓発ポスターの掲示等を実施している。
2-2	・水防(防災)訓練の実施	水防訓練の実施について	引き続き実施	4年に1回を基準に実施していく。【実施済み】	【取組内容】 防災訓練や消防団の統一訓練時に水防工法訓練を併せて実施している。 【取組実施上の課題】	防災訓練や消防団の統一訓練時に水防工法訓練を併せて実施した。
2-3	・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	水防団への連絡体制の再確認や伝達訓練の実施について	引き続き実施	水防団への連絡体制の再確認を行う。 28年度で配備した携帯型無線機等の通信訓練等を行っていく【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 水防団への連絡系統は確認しているが、伝達訓練は実施していない。火災現場において小型の無線機を使っている。 【取組実施上の課題】	火災現場において小型の無線機を使っている。
2-4	・隣接市町合同による水防訓練の取組を推進	利根川が決壊した場合、広域的な浸水となりますが、水防訓練を隣接市町と合同で行うなどの取組の実施について	H29年度から順次実施	「災害時等の相互応援に関する協定書」を県内市町村と締結済み。H28年度中に南東広域消防本部管内市町村と災害時相互応援に関する協定締結を予定しているが、訓練については検討を行う。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 水郡4市による協議で、今後の実施の検討を行う。 【取組実施上の課題】	実施なし。
2-5	・広域的な水防支援体制を推進	利根川下流域の破壊箇所によっては、一市町又は一水防事務組合の範囲を超えることが想定されますが、そのような場合の取組について	H32年度	広域的な事務組合相互の水防活動について支援体制の推進・連携強化を図る。【平成28年度から実施】	【取組内容】 鎌子市と消防相互応援協定を締結しており、県内市町村間で災害時等の相互応援に関する協定を締結している。 【取組実施上の課題】	実施なし。
2-6	・広域化、長期化する水防活動も視野に入れ、巡視区間・頻度・内容の明確化を図る	水防警報発令後の巡視区間・頻度・内容について	H28年度から順次実施	今後の状況に応じて巡視頻度及び巡視区間についても調査を図る。【平成28年度から実施】	【取組内容】 河川、堤防等の巡視及び重要水防箇所を地域防災計画に定めている。 【取組実施上の課題】	昨年度から変更なし。
2-7	・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定の促進	内水に対する水防活動以外に利根川の水防活動の実施について。また、水防協力団体の募集、指定についての広報の実施について	引き続き実施	水防活動には、水防団の拡充が不可欠であり、市公式ホームページや防災専門家の広告により、周知を行う。【実施済み】	【取組内容】 消防団(水防団)は内水被害による対応で人手不足のため、利根川での水防活動は困難な状況である。また、水防協力団体の募集についてはポスターにより実施している。 【取組実施上の課題】	昨年度から変更なし。
2-8	・沿川市町：毎年、水防団や地域住民が参加し、洪水特性を考慮した水害リスクの高い箇所の共同点検の実施 ・沿川市町別：水害リスクの高い地域への訓練実施の呼びかけや防災啓発の場で住民等へ周知を図る。	水害リスクの高い箇所に関して水防団や地域住民との情報共有について	H28年度から順次実施	浸水想定区域内の多くの住民に対し、毎年河川事務所が実施する共同点検等の周知を図り、参加を推進する。【平成2年度から順次実施】	【取組内容】 消防団(水防団)、住民を含めた共同点検を実施しているが、一部住民のみとなっている。 【取組実施上の課題】	消防団(水防団)、住民を含めた共同点検を実施した。
2-9	・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	水防活動への重機使用等、建設会社の支援に関する協定の締結について	H28年度から順次実施	現在、建設業組合との間で協定を結んでいるが、適宜協定の拡充を検討する。【実施済み】	【取組内容】 建設会社等と災害時協定を締結している。 【取組実施上の課題】	昨年度から変更なし。
2-11	・水害BCP策定に向けた検討	水害BCP(事業継続計画)の作成について	H32年度	現在策定済みの地震災害BCPの計画に基づき、水災害について、一部追加・改訂を行う。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 地震BCPを活用して、水害に対しても対応できるように関係部署と調整を図る。 【取組実施上の課題】	地震BCPを活用して、水害に対しても対応できるように関係部署と調整を図ることを検討。
2-12	・洪水や氾濫の特性も考慮した内容の氾濫を想定した対応マニュアルの作成	洪水時の庁舎等の機能確保のための対応マニュアルについて	H32年度	機能確保マニュアルについて、検討を行う。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 庁舎が洪水の浸水想定区域外のため、マニュアルを作成していない。 【取組実施上の課題】	昨年度から変更なし。
2-13	・大規模工場等への浸水リスクと水害対策等の周知活動の実施	大規模工場等へ浸水リスクの説明と水害対策等の啓蒙活動の実施について	H32年度	洪水ハザードマップ内に大規模工場はないが、浸水想定区域内の企業に対しての啓蒙活動については検討を行う。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 浸水想定区域内に大規模工場がないため、該当しない。 【取組実施上の課題】	昨年度から変更なし。
2-14	・「自衛水防を説明会等により市民へ周知	自治会等の自衛水防に関する周知について	H29年度から順次実施	現在行っていないが、自主防災組織、防災士の活用を検討する。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 教育委員会と協力して、小中学校をフィールドとした水災害教育の場を用いて、自衛水防に関する周知を図っている。 【取組実施上の課題】	教育委員会と協力して、小中学校をフィールドとした水災害教育の場を用いて、自衛水防に関する周知を図った。
(3)一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組み						
3-1	・河川に近い特性も考慮した氾濫水	利根川の決壊による浸水に対する、現状の配置計画の複合的な住民避難や早期の社会機能回復の実現について	H32年度	排水計画については、今後国土交通省より提出される想定最大規模を想定した氾濫シミュレーション公表後、排水計画の検証及び改訂の検討を行う。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 浸水被害を解消するため、水中ポンプの設置対応を行うほか、地区内の避難誘導に努めている。 【取組実施上の課題】	浸水被害を解消するため、水中ポンプの設置対応を行うほか、地区内の避難誘導に努めている。
3-2	・迅速に排水するための、排水施設情報の共有・排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	利根川(水川)支川の堤門等閉鎖による内水被害の発生を懸念している			【取組内容】 内水被害常態化への対応が懸念される。 【取組実施上の課題】	内水被害常態化への対応が懸念される。
3-3	・氾濫水により迅速に排水するための排水計画の作成について				【取組内容】 計画作成までは至っていないが、災害警戒本部(関係各課長との連絡調整の場)等組織連携を図っている。 【取組実施上の課題】	計画作成までは至っていないが、災害警戒本部(関係各課長との連絡調整の場)等組織連携を図っている。
3-4	・排水計画に基づく排水訓練の実施	排水計画に基づく排水訓練の実施について	H32年度	排水訓練については、担当課と協議・検討する。【実施済み】	【取組内容】 排水訓練は実施していない。 【取組実施上の課題】	昨年度から変更なし。
■ハード対策の主な取組み						
(1)洪水を河川内で安全に封鎖対策、危機管理型ハード対策						
4-1	・優先的に実施する堤防整備	優先的に実施する堤防整備について	H32年度			
4-1	・優先的に実施する堤防天端の保護	優先的に実施する堤防天端の保護について	H32年度			
(2)避難行動、水防活動、排水活動に関する基盤等の整備						
4-1	・簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	簡易・水位等の観測データ及び洪水等の状況を把握・伝達するための基盤の整備	H32年度		【取組内容】 防災行政無線、280MHzデジタル同報無線システム(防災ラジオ)、登録メール、緊急連絡メール、ホームページ、広報車等による情報伝達を実施している。また、アラートによる報道機関等への情報提供等を実施している。 【取組実施上の課題】	昨年度から変更なし。
1-17	・円滑かつ迅速な避難に資する施設(ハード)整備	住民等への情報伝達手段の整備について	H32年度	H28年度中に音声一斉配信サービスを導入予定。 H32年～34年にかけて防災無線のデジタル化を予定。 地区防災計画の策定。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 防災行政無線、280MHzデジタル同報無線システム(防災ラジオ)、登録メール、緊急連絡メール、ホームページ、広報車等による情報伝達を実施している。また、アラートによる報道機関等への情報提供等を実施している。 【取組実施上の課題】	昨年度から変更なし。
2-10	・迅速な水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材の検討、配備や地域防災計画に基づく水防資機材等の配備、維持管理	利根川下流域の利根川(水川)の水防活動必要区間延長は長く、限られた水防団員による水防工法においては、負担が大きいと考えられる。新技術を活用した水防資機材や、水防資機材の配備について	引き続き実施	水防活動に効果的な資機材の情報を収集し、資機材の有用性に応じて配備を検討する。水防管理団体と協議、検討を行う。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 水防資機材等土のう袋や防水シート等の水防資機材を備蓄している。 【取組実施上の課題】	水中ポンプを配備した。
2-15	・氾濫形態に応じた排水施設の耐水化、庁舎の耐水対策の実施	排水施設の耐水化、庁舎等の重要施設の耐水対策について	H32年度	BCPの水災害対応計画に基づき検討する。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 排水施設等の耐水対策を実施していない。また、庁舎は洪水の浸水想定区域外のため実施していない。 【取組実施上の課題】	昨年度から変更なし。

具体的

■ハード対策の主な取り組み

〇概ね5年で実施する取組

具体的な取組の計画			目標時期	実施する機関		
				取組内容	H29年度までの実施状況	H29年度の実施状況
(2)洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組み						
2-1	・水防に関する広報の推進	水防に関する広報の実施について	引き続き実施	水防に関する広報の推進。【実施済み】	【取組内容】HPや広報誌等による水防訓練の報告や啓発を実施している。 【取組実施上の課題】	
2-2	・水防(防災)訓練の実施	水防訓練の実施について	引き続き実施	4年に1回を基準に実施していく。【実施済み】	【取組内容】年1回水防訓練を実施している。(水防事務組合訓練) 【取組実施上の課題】	
2-3	・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	水防団への連絡体制の再確認や伝達訓練の実施について	引き続き実施	水防団への連絡体制の再確認を行う。28年度で配備した携帯型無線機等の送信訓練等を行っていく【平成29年度から順次実施】	【取組内容】災害対策本部から水防団(消防団)への連絡体制を定めている。防災無線(移動系)や登録メールにより遠隔訓練を実施している。 【取組実施上の課題】	
2-4	・隣接市町合同による水防訓練の取組を推進	利根川が決壊した場合、広域的な浸水となりますが、水防訓練を隣接市町と合同で行うなどの取組の実施について	H29年度から順次実施	「災害時等の相互応援に関する協定書」を県内市町村と締結済み。H28年度中に前敷広域消防本部管内市町村と災害時相互応援に関する協定締結を予定しているが、訓練については検討を行う。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】実施している。(水防事務組合訓練) 【取組実施上の課題】	
2-5	・広域的な水防支援体制を推進	利根川下流域の破壊箇所によっては、一市町又は一水防事務組合の範囲を超えることが想定されますが、そのような場合の取組について	H32年度	広域的な事務組合相互の水防活動について支援体制の推進・連携強化を図る。【平成28年度から実施】	【取組内容】国・県・他市町・水防事務組合との連携。 【取組実施上の課題】	
2-6	・広域化、長期化する水防活動も視野に入れ、監視区間・頻度・内容の明確化を図る	水防警報発令後の監視区間・頻度・内容について	H28年度から順次実施	今後の状況に応じて監視頻度及び監視内容についても調整を図る。【平成28年度から実施】	【取組内容】地域防災計画に水防団による河川監視の必要となる区間を位置づけている。 【取組実施上の課題】	
2-7	・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定の促進	内水に対する水防活動以外に利根川の水防活動の実施について。また、水防協力団体の募集、指定についての広報の実施について	引き続き実施	水防活動には、水防団の拡充が不可欠であり、市公式ホームページや団員募集の広告により、周知を行う。【実施済み】	【取組内容】水防団員は、HPや広報誌等で随時募集している。 【取組実施上の課題】	
2-8	・沿川市町：毎年、水防団や地域住民が参加し洪水特性を考慮した水害リスクの高い密市の共同点検の実施 ・沿川市町外：水害リスクの高い地域への訓練実施の呼びかけや防災啓発の場で住民等へ周知を図る。	水害リスクの高い箇所に関して水防団や地域住民との情報共有について	H28年度から順次実施	浸水想定区域内の多くの住民に対し、毎年河川事務所が実施する共同点検等の周知を図り、参加を推進する。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】沿川の区長等の住民を含めた共同点検を実施している。 【取組実施上の課題】	
2-9	・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	水防活動への重機使用等、建設会社の支援に関する協定の締結について	H28年度から順次実施	現在、建設業組合との間で協定を結んでいるが、適宜協定の拡充を検討する。【実施済み】	【取組内容】災害(水害)活動に関して建設業協会と支援の協定を締結している。 【取組実施上の課題】	
2-11	・水害BCP策定に向けた検討	水害BCP(事業継続計画)の作成について	H32年度	現在策定済みの地震災害BCPの計画に基づき、水災害について、一部追加・改訂を行う。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】地域防災計画との整合、関係部署間と協議・調整を行っており、水害BCP策定に向けて今後も継続して検討予定のため、課題等はない。 【取組実施上の課題】	
2-12	・洪水や氾濫の特性も考慮した内容の広葉を想定した対応マニュアルの作成	洪水時の庁舎等の機能確保のための対応マニュアルについて	H32年度	機能確保マニュアルについて、検討を行う。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】現状の取組無し。(庁舎は浸水想定区域外に建てられているため該当しないと判断している) 【取組実施上の課題】	
2-13	・大規模工場等への浸水リスクと水害対策等の周知活動の実施	大規模工場等へ浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動の実施について	H32年度	洪水ハザードマップ内に大規模工場等はないが、浸水想定区域内の企業に対しての啓発活動については検討を行う。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】現状の取組無し。 【取組実施上の課題】	
2-14	・自衛水防の説明会等により市民へ周知	自治会等の自衛水防に関する周知について	H29年度から順次実施	現在行っていないが、自主防災組織、防災士の活用を検討する。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】自主防災組織として活動している。 【取組実施上の課題】	
(3)一軒も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組み						
3-1	・河川に近い特性も考慮した氾濫水害を迅速に排水するための、排水施設情報の共有・排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	利根川が決壊による浸水に対する、現状の配置計画の増築な住民避難や早期の社会機能回復の実策について	H32年度	排水計画については、今後国土交通省より提出される浸水想定最大規模を想定した氾濫シミュレーション公表後、排水計画の検証及び改訂の検討を行う。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】現状の取組無し。(排水施設等を持っていないため計画等がない) 【取組実施上の課題】	
3-2		利根川本川支川の樋門等閉鎖による内水被害の発生を懸念している			【取組内容】現状の取組無し。(発生は懸念されるが施設および計画が無いため検討していない) 【取組実施上の課題】	
3-3		氾濫水をより迅速に排水するための排水計画の作成について			【取組内容】現状の取組無し。 【取組実施上の課題】	
3-4	・排水計画に基づく排水訓練の実施	排水計画に基づく排水訓練の実施について	H32年度	排水訓練については、担当課と協議・検討する。【実施済み】	【取組内容】現状の取組無し。 【取組実施上の課題】	
■ハード対策の主な取組み						
(1)洪水を河川内で安全に流す対策、危機管理型ハード対策						
4-1	・優先的に実施する堤防整備	優先的に実施する堤防整備について	H32年度			
4-1	・優先的に実施する堤防天端の保護	優先的に実施する堤防天端の保護について	H32年度			
(2)避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備						
4-1	・簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	雨量・水位等の観測データ及び洪水等の状況を把握・伝達するための基盤の整備	H32年度			
1-17	・円滑かつ迅速な避難に資する施設(ハート)整備	住民等への情報伝達手段の整備について	H32年度	H28年度中に音声一斉配信サービスを導入予定。 H32年～34年にかけて防災無線のデジタル化を予定。 ・地区防災計画の策定。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】防災行政無線(デジタル化実施中)、登録メール、エリアメール、HP、フェイスブック、ツイッター等による情報発信、広報車による周知、アラートによる報道機関等への情報提供等を実施している。 【取組実施上の課題】	
2-10	・迅速な水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材の検討、配備や地域防災計画に基づく水防資機材等の配備、維持管理	利根川下流域の利根川本川の水防活動必要区間延長は長く限られた水防団員による水防工法においては、負担が大きいため水防工法が有効と考えます。新技術を活用した水防資機材や、水防資機材の配備について	引き続き実施	水防活動に効果的な資機材の情報を収集し、資機材の有効性に応じて配備を検討する。水防管理団体と協議、検討を行う。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】新技術を活用した水防資機材購入に必要な予算確保が難しく、水防関係団体と協議中である。新技術を活用した水防資機材の導入に向けた検討を行っているため、課題等はない。 【取組実施上の課題】	
2-15	・氾濫形態に応じた排水施設の耐水化、庁舎の耐水対策の実施	排水施設の耐水化、庁舎等の重要施設の耐水対策について	H32年度	BCPの水災害対応計画に基づき検討する。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】現状の取組無し。(庁舎は浸水想定区域外に建てられており、町保有の排水施設はない) 【取組実施上の課題】	

具体的
事

■ハード対策の主な取り組み

沿川集散、親宮島土橋横路頭に於

[illegible]

〇令和5年度で実施する取組

具体的な取組の概要			目標時期	実施する機関			
実施内容				取組内容		H29年度までの実施状況	
(2) 洪水対策による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取り組み							
② 水防活動の取り組み	2-1	・水防に関する広報の推進	水防に関する広報の実施について	引き続き実施	水防に関する広報の推進。【実施済み】	【取組内容】 広報誌に水防訓練実施結果を掲載。 【取組実施上の課題】 特設なし。	【取組内容】 水防訓練の結果を広報誌に掲載した。 【取組実施上の課題】 特設なし。
	2-2	・水防(防災)訓練の実施	水防訓練の実施について	引き続き実施	4年に1回を基準に実施していく。【実施済み】	【取組内容】 例年実施(3年に1度は水防演習として実施) 【取組実施上の課題】 特設なし。	【取組内容】 水防演習を実施した。 【取組実施上の課題】 特設なし。
	2-3	・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	水防団への連絡系統の再確認や伝達訓練の実施について	引き続き実施	水防団への連絡体制の再確認を行う。 28年度で整備した携帯型無線機等の通信訓練等を行っていく【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 連絡体制は構築済み。水防協議会時に確認している。 【取組実施上の課題】 伝達訓練の実施はしていない。	【取組内容】 水防協議会を行い、連絡体制の確認を行った。 【取組実施上の課題】 伝達訓練の実施はしていない。
	2-4	・隣接市町合同による水防訓練の取組を推進	利根川が決壊した場合、広域的な浸水とならずには、水防訓練を隣接市町と合同で行うなどの取組の実施について	H29年度から順次実施	「災害時等の相互応援に関する協定書」を県内市町村と締結済み。H28年度中に巨勢、広域消防本部管内市町村と災害時相互応援に関する協定締結を予定しているが、訓練については検討を行う。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 印旛地区水防管理団体連合会及び印旛利根川水防事務組合の構成員としており、印旛利根川水防事務組合が主催する水防演習に参加している。 【取組実施上の課題】 特設なし。	印旛地区水防管理団体連合会主催の水防演習を当市が担当で行った。
	2-5	・広域的な水防支援体制を推進	利根川下流域の破壊箇所によっては、一市町又は水防事務組合の範囲を超えることが想定されますが、そのような場合の取組について	H32年度	広域的な事務組合相互の水防活動について支援体制の推進・連携強化を図る。【平成29年度から実施】	【取組内容】 印旛地区水防管理団体連合会の構成員として、相互応援を行っている。 【取組実施上の課題】 特設なし。	【取組内容】 新たな取組なし。 【取組実施上の課題】 特設なし。
	2-6	・広域化、長期化する水防活動も視野に入れ、巡視区間・頻度・内容の明確化を図る	水防警報発令後の巡視区間・頻度・内容について	H28年度から順次実施	今後の状況に応じて巡視頻度及び巡視区間についても調整を図る。【平成28年度から実施】	【取組内容】 水防実施計画書に重要水防箇所を記載。頻度、内容はその都度巡視計画を作成し、指示している。 【取組実施上の課題】 長期化した際の対応について検討されていない。	【取組内容】 継続実施。 【取組実施上の課題】 長期化した際の対応について検討されていない。
	2-7	・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定の促進	内水に対する水防活動以外に利根川の水防活動の実施について。また、水防協力団体の募集、指定についての広報の実施について	引き続き実施	水防活動には、水防団の拡充が不可欠であり、市公式ホームページや団員募集の広告により、周知を行う。【実施済み】	【取組内容】 消防団(水防団)の募集を実施している。 【取組実施上の課題】 特設なし。	【取組内容】 継続実施して消防団(水防団)の募集を実施。 【取組実施上の課題】 特設なし。
	2-8	・沿川市町・毎年、水防団や地域住民が参加し洪水特性を考慮した水害リスクの高い密着の共同点検の実施 ・沿川市町外・水害リスクの高い地場への訓練実施の呼びかけや防災啓発の場で住民等へ周知を図る。	水害リスクの高い箇所に関して水防団や地域住民との情報共有について	H28年度から順次実施	浸水想定区域内の多くの住民に対し、毎年河川事務所が実施する共同点検等の周知を図り、参加を推進する。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 住民へは防災マップ、水防団へは水防計画実施計画書により周知している。 【取組実施上の課題】 特設なし。	【取組内容】 継続して住民へは防災マップ、水防団へは水防計画実施計画書により周知した。 【取組実施上の課題】 特設なし。
	2-9	・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	水防活動への重機使用等、建設会社の支援に際する協定の締結について	H28年度から順次実施	現在、建設業組合との間で協定を結んでいるが、適宜協定の拡充を検討する。【実施済み】	【取組内容】 建設業災害対策協会・空害災害協会と災害時緊急工事等の協力に関する業務協定書を締結。水防演習時に参加している。 【取組実施上の課題】 特設なし。	【取組内容】 水防演習に建設業災害対策協会・空害災害協会に参加していただいた。 【取組実施上の課題】 特設なし。
	2-11	・水害BCP策定に向けた検討	水害BCP(事業継続計画)の作成について	H32年度	現在策定済みの地震災害BCPの計画に基づき、水災害について、一部追加・改訂を行う。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 浸水想定区域域外のため未作成。 【取組実施上の課題】 特設なし。	【取組内容】 浸水想定区域域外のため未作成。 【取組実施上の課題】 特設なし。
	2-12	・洪水や氾濫の特性も考慮した内容の広域を想定した対応マニュアルの作成	洪水時の庁舎等の機能確保のための対応マニュアルについて	H32年度	機能確保マニュアルについて、検討を行う。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 浸水想定区域域外のため未作成。 【取組実施上の課題】 特設なし。	【取組内容】 浸水想定区域域外のため未作成。 【取組実施上の課題】 特設なし。
	2-13	・大規模工場等への浸水リスクと水害対策等の周知活動の実施	大規模工場等へ浸水リスクの説明と水害対策等の啓蒙活動の実施について	H32年度	洪水ハザードマップ内に大規模工場等はないが、浸水想定区域内の企業に対しての啓蒙活動については検討を行う。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 浸水想定区域内に大規模工場用地なし。 【取組実施上の課題】 特設なし。	【取組内容】 浸水想定区域内に大規模工場用地なし。 【取組実施上の課題】 特設なし。
	2-14	・自衛水防の説明会等により市民へ周知	自治会等の自衛水防に関する周知について	H29年度から順次実施	現在は行っていないが、自主防災組織、防災士の活用を検討する。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 広報誌に家庭での土のうの備蓄についての記事を掲載。 【取組実施上の課題】 水害時、自主防災組織が避難誘導の実施は行いが、その他の水防活動については想定していない。	【取組内容】 継続して広報誌に家庭での土のうの備蓄についての記事を掲載。 【取組実施上の課題】 水害時、自主防災組織が避難誘導の実施は行いが、その他の水防活動については想定していない。
③ 一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取り組み							
(1) 洪水を河川内で安全に流す対策、危機管理型ハード対策							
3-1 3-2 3-3	・河川に近い特性も考慮した氾濫水を迅速に排水するための、排水施設情報の共有・排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	利根川が決壊による浸水に対する、現状の配置計画の増強な住民避難や早期の社会機能回復の実効性について	H32年度	排水計画については、今後国土交通省より発表される想定最大規模を想定した氾濫シミュレーション公表後、排水計画の検証及び改訂の検討を行う。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 現状では実施していないが、今後検討を行う。 【取組実施上の課題】 必要性を検討する。	【取組内容】 現状の取組なし。 【取組実施上の課題】 必要性を検討する。	
3-4	・排水計画に基づく排水訓練の実施	排水計画に基づく排水訓練の実施について	H32年度	排水訓練については、担当課と協議・検討する。【実施済み】	【取組内容】 現状の取組なし。 【取組実施上の課題】 必要性を検討する。	【取組内容】 現状の取組なし。 【取組実施上の課題】 必要性を検討する。	
■ハード対策の主な取り組み							
(1) 洪水を河川内で安全に流す対策、危機管理型ハード対策							
4-1	・優先的に実施する堤防整備	優先的に実施する堤防整備について	H32年度				
4-1	・優先的に実施する堤防天端の保護	優先的に実施する堤防天端の保護について	H32年度				
(2) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備							
4-1	・簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	H32年度				
1-17	・円滑かつ迅速な避難に資する施設(ハード)整備	住民等への情報伝達手段の整備について	H32年度	H28年度中に音声一斉配信サービスを導入予定。 H32年～34年にかけて防災無線のデジタル化を予定。 地区防災計画の策定。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 情報伝達方法の多量化(防災行政無線、メール配信サービス、HP、SNS等)。 【取組実施上の課題】 特設なし。	【取組内容】 継続して防災行政無線、メール配信サービス、HP、SNS等を活用した。 【取組実施上の課題】 特設なし。	
2-10	・迅速な水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材の検討・配備や地域防災計画に基づく水防資機材等の配備、維持管理	利根川下流域の利根川本川の水防活動必要区間延長は長く限られた水防団員による水防工法においては、新技術は有効と考えます。新技術を活用した水防資機材や、水防資機材の配備について	引き続き実施	水防活動に効果的な資機材の情報を収集し、資機材の有効性に応じて配備を検討する。水防管理団体を協議、検討を行う。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 H28年度に土のう製作を購入し、H29年度は団員の安全確保を最優先とし、ライフジャケットを購入した。 【取組実施上の課題】 特設なし。	【取組内容】 団員の安全確保を最優先とし、ライフジャケットを購入した。 【取組実施上の課題】 特設なし。	
2-15	・氾濫形態に応じた排水施設の耐水化、庁舎の耐水対策の実施	排水施設の耐水化、庁舎等の重要施設の耐水対策について	H32年度	BCPの水災害対応計画に基づき検討する。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 浸水想定区域内に市庁舎なし。 【取組実施上の課題】 特設なし。	【取組内容】 浸水想定区域内に市庁舎なし。 【取組実施上の課題】 特設なし。	

〇令和5年度で実施する取組

具体的な取組の概要			目標時期	実施する機関	
市・区				柏市	
具体的取組				取組内容	
■ソフト対策の主な取り組み				H29年度までの実施状況	H29年度の実施状況
(1) 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取り組み					
1-1	・沿川市町：想定最大規模降雨における洪水を対象に基準の見直しについて検討する。 ・沿川市町以外：洪水浸水想定区域に基づく避難の発令対象区域を設定。また、必要に応じて避難の発令基準を修正	避難に関する発令基準（対象区域・判断基準）の位置づけについて	平成28年度から順次実施	地域防災計画において、小貝川・利根川洪水避難計画を策定し、避難の発令基準、対象区域を位置づけた。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 地域防災計画において、水防上の基準水位にあわせて避難の発令基準、対象区域を位置づけている。【取組内容】 地域防災計画において、水防上の基準水位にあわせて避難の発令基準、対象区域を位置づけている。
1-2	・沿川市町：ロールプレイ等による検討を行いながらタイムラインの見直しを行う。 ・沿川市町以外：避難動向に着目したタイムラインの作成	避難動向に着目したタイムラインの策定について	平成28年度から順次実施	避難対象住民等の意見を聴取し、タイムラインに基づく避難訓練の検討会にて整理し、検証を行っていく。【検討会実施済み。検証については平成28年度から順次実施】	【取組内容】 タイムラインは策定済みであり、今後避難訓練を通して検証していく。【取組内容】 タイムラインは策定済みであり、今後避難訓練を通して検証していく。
1-3 1-4 1-5	・広域避難計画の検討、策定や避難経路に関する検討、防災訓練などの機会を通じ避難場所の住民への周知を図る。	利根川の決壊により広範囲に浸水することが予想された場合、避難経路による住民の避難について、また、ハザードマップで避難場所までの避難経路の指定状況について	平成28年度から順次実施	現在、小貝川・利根川洪水避難計画を策定中。【H28年度から順次実施】 指針・広域市町村圏内において相互対応に即する協定を結び、今後、広域避難計画に向けて、検討を行う。また、住民への周知については引き続き実施する。	【取組内容】 H29年度内に、想定最大規模降雨に対応したWEB版ハザードマップの配信を予定している。【取組内容】 H30年度内に、想定最大規模降雨に対応したWEB版ハザードマップの配信を予定している。
1-6	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表	想定最大規模降雨の場合の住民避難について	H29年度		
1-7	・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さサポート）	雨の降り方が変化していることを踏まえた防災・減災対策の取り組みについて	平成29年度から順次実施		
1-8	・想定最大外力を反映した洪水HMの策定・周知	計画規模の外力を対象とした洪水ハザードマップの作成、住民への周知について	平成29年度から順次実施	防災の手引き、ハザードマップより周知を図る。【平成29年度から順次実施】 想定最大規模降雨による洪水想定区域の公表に併せ、ハザードマップや市で作成している防災の手引きの改定を行う。	【取組内容】 H29年度内に、想定最大規模降雨に対応したWEB版ハザードマップの配信を予定しており、住民への周知を図っていく。H30年度以降に、地域住民への配布を予定している。【取組内容】 H30年度内に、想定最大規模降雨に対応したWEB版ハザードマップの配信を予定しており、住民への周知を図っていく。H30年度以降に、地域住民へ紙ベースの配布を実施。
1-9	・首長も参加したロールプレイング等の実践的な避難訓練の実施	自治会等も参加した避難訓練の実施について	平成28年度から順次実施	引き続き、首長も参加する水害対応の実践的な避難訓練を実施していく。【実施済み】	【取組内容】 我孫子市との共同により、水防工法の披露等による水防訓練を実施（両首長も参加）。【取組内容】 我孫子市との共同により、水防工法の披露等による水防訓練を実施（両首長も参加）。
1-10	・洪水情報のプッシュ型配信の実施	住民が自ら水害のリスクを察知し主体的に避難出来る取組について	平成29年度から順次実施		
1-11	・スマホ等IT機器の活用を検討、避難訓練等の実施	スマートフォン等のIT機器を活用した避難訓練等の実施について	平成28年度から順次実施	今後もスマホ等IT機器を用いた訓練を継続していく。【実施済み】	【取組内容】 IP無線を活用して、ドローン協定業者と協力した情報伝達訓練を実施している（毎月1回）。【取組内容】 IP無線を活用して、ドローン協定業者と協力した情報伝達訓練を実施している（毎月1回）。
1-12	・水防災意識社会に関する資料等の作成による広報の推進	水防災意識社会の説明資料等の有無について	平成29年度から順次実施	水防災意識社会に関する資料（提示用のパネル等）を作成する。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 出水期前、早めに避難して頂くための様々な情報取得先等を広報誌に掲載している。【取組内容】 出水期前、早めに避難して頂くための様々な情報取得先等を広報誌に掲載している。
1-13	・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	水災害に関する住民からの問い合わせへの対応について	平成28年度から順次実施	危機管理室で対応する。【実施済み】	【取組内容】 質問内容に応じ担当部署で対応。【取組内容】 質問内容に応じ担当部署で対応。
1-14	・水防災に関する説明会の開催	水防災について住民への周知に関する取組の実施について	平成28年度から順次実施	要望により、水防災に対する説明会を行っていく。【実施済み】	【取組内容】 浸水想定区域内の自治会を対象に説明会を実施している。【取組内容】 浸水想定区域内の自治会を対象に説明会を実施している。
1-15	・小中学校における防災教育の促進	小中学校における水災害教育の実施について	平成28年度から順次実施	引き続き、小中学校を対象とした水災害教育を実施する。【実施済み】	【取組内容】 地域要望があれば適宜対応している。【取組内容】 地域要望があれば適宜対応している。
1-16	・教員を対象とした講習会の実施	水災害等の防災教育においては、学校教育が重要と考えています。学校の先生方への水災害等の理解促進の取組の実施について	H29年度から順次実施	今後、教職員向けの講習会の実施を教育委員会と調整する。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 現状の取組無し。【取組内容】 現状の取組無し。
1-18 1-19 1-20	・避難誘導体制の充実	避難誘導体制の地域防災計画等での位置づけについて 避難時にバスなどの公共交通機関による大量輸送の計画について 洪水時における河川管理者からの情報提供等（ホットラインの構築）について 河川防災ステーションの整備について 住民避難が円滑に行われるための工夫について	H29年度から順次実施	小貝川・利根川洪水避難計画策定後、計画に基づいた訓練を行い、検証を行っていく。また、前計画策定に併せ、前浦県三条市等のハザードマップを参考にすることまちごとハザードマップを拡充予定。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 消防団、消防局、警察官、町会、自治会、区等が協力し、組織的に避難誘導を実施する。【取組内容】 消防団、消防局、警察官、町会、自治会、区等が協力し、組織的に避難誘導を実施する。
1-21	・日常から水災害意識の向上を図り、迅速な避難を実現するため、まちごとまちごとHMの検討、整備や表示板等の整備推進	避難所の表示看板やまちごとまちごととハザードマップ等、迅速な避難を実現するための取組について	H32年度	避難所の表示看板の充実化実施。【平成32年度から順次実施】	【取組内容】 ユニバーサルデザイン、多言語表記による避難場所の看板を表記統一を図っている。【取組内容】 ユニバーサルデザイン、多言語表記による避難場所の看板を表記統一を図っている。
1-22	・要配慮者施設における避難計画の策定および訓練の実施促進、訓練の必要性の啓発	要配慮者施設における避難計画の策定及び訓練の実施について	H32年度	水災害に対応した計画を策定し、水災害対応の訓練を啓発・実施する。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 一部の要配慮者施設については避難計画策定済みであり、訓練実施に向けたサポートは行っている。【取組内容】 一部の要配慮者施設については避難計画策定済みであり、訓練実施に向けたサポートは行っている。

〇概ね5年で実施する取組

実施する取組の 年次		目標時期	実施する機関		
具体的取組			取組内容	H29年度までの実施状況	
(2) 洪水被害による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組み					
2-1	・水防に関する広報の推進	水防に関する広報の実施について	引き続き実施	水防に関する広報の推進。【実施済み】	【取組内容】 水防に関する広報の具体的な掲載方法は検討中であるが、情報入手方法、避難情報の種類の違い等を示していく。その際には、洪水に加えて、内水についても想定している。
2-2	・水防(防災)訓練の実施	水防訓練の実施について	引き続き実施	4年に1回を基準に実施していく。【実施済み】	【取組内容】 我孫子市との二市共催による水防演習を実施している(H29年度は柏市にて開催)。
2-3	・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	水防団への連絡系統の再確認や伝達訓練の実施について	引き続き実施	水防団への連絡体制の再確認を行う。28年度で整備した携帯型無線機等の送信訓練等を行っていく【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 メール配信サービスにより、水防団に一斉配信する体制になっており、平常時から伝達の確認が行なえている。
2-4	・隣接市町合同による水防訓練の取組を推進	利根川が決壊した場合、広域的な浸水となることが、水防訓練を隣接市町と合同で行うなどの取組の実施について	H29年度から順次実施	【取組内容】 「災害時等の相互応援に関する協定書」を県内市町村と締結済み。H28年度中に飯沼地域消防本部管内市町村と災害時相互応援に関する協定締結を予定しているが、訓練については検討を行う。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 我孫子市との二市共催による水防演習を実施している(H29年度は柏市にて開催)。
2-5	・広域的な水防支援体制を推進	利根川下流域の破壊箇所によっては、一市町又は一水防事務組合の範囲を超えることが想定されますが、そのような場合の取組について	H32年度	広域的な事務組合相互の水防活動について支援体制の推進・連携強化を図る。【平成29年度から実施】	【取組内容】 我孫子市との水防支援体制を構築している。
2-6	・広域化、長期化する水防活動も視野に入れ、監視区間・頻度・内容の明確化を図る	水防警報発令後の監視区間・頻度・内容について	H28年度から順次実施	今後の状況に応じて監視頻度及び監視区間についても調整を図る。【平成28年度から実施】	【取組内容】 水防計画に監視の必要となる区間を位置づけている。
2-7	・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定の促進	内水に対する水防活動以外に利根川の水防活動の実施について。また、水防協力団体の募集、指定についての広報の実施について	引き続き実施	水防活動には、水防団の拡充が不可欠であり、市公式ホームページや団員募集の広告により、周知を行う。【実施済み】	【取組内容】 消防局にて団員の募集を行っている。
2-8	・沿川市町：毎年、水防団や地域住民が参加し洪水特性を考慮した水害リスクの高い密集地の共同点検の実施 ・沿川市町外：水害リスクの高い地域への訓練実施の呼びかけや防災啓発の場で住民等へ周知を図る。	水害リスクの高い箇所に関して水防団や地域住民との情報共有について	H28年度から順次実施	浸水想定区域内の多くの住民に対し、毎年河川事務所が実施する共同点検等の周知を図り、参加を推進する。【平成2年度から順次実施】	【取組内容】 柏市洪水ハザードマップで住民への情報提供を実施している。
2-9	・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	水防活動への重機使用等、建設会社の支援に関する協定の締結について	H28年度から順次実施	現在、建設業組合との間で協定を結んでいるが、適宜協定の拡充を検討する。【実施済み】	【取組内容】 柏市建設業界と、災害時における応急復旧活動の協力に関する協定を締結しており、土のうの配置、排水作業等の対応を協定業者に依頼・対応してくれることになっている。
2-11	・水害BCP策定に向けた検討	水害BCP(事業継続計画)の作成について	H32年度	現在策定済みの地震災害BCPの計画に基づき、水害に関して、一部追加・改訂を行う。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 浸水想定区域内に庁舎がないため、該当しない。
2-12	・洪水や氾濫の特性も考慮した内容の広宣を想定した対応マニュアルの作成	洪水時の庁舎等の機能確保のための対応マニュアルについて	H32年度	機能確保マニュアルについて、検討を行う。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 浸水想定区域内に庁舎がないため、該当しない。
2-13	・大規模工場等への浸水リスクと水害対策等の周知活動の実施	大規模工場等へ浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動の実施について	H32年度	洪水ハザードマップ内に大規模工場等はないが、浸水想定区域内の企業に対しての啓発活動については検討を行う。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 浸水想定区域内に大規模工場がないため、該当しない。
2-14	・自衛水防の説明会等により市民へ周知	自治会等の自衛水防に関する周知について	H29年度から順次実施	現在行っていないが、自主防災組織、防災士の活用を検討する。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 我孫子市との二市共催の水防演習で、自衛水防に関して近隣自治会への説明を行っている。
(3) 一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組み					
3-1	・「河口に近い特性も考慮した氾濫水」を迅速に排水するための、排水施設情報の共有・排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	利根川(利根川支川)の堤門等閉鎖による内水被害の発生を懸念している	H32年度	排水計画については、今後国土交通省より発表される想定最大規模を想定した氾濫シミュレーション公表後、排水計画の検証及び改訂の検討を行う。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 下水処理能力の向上や土のうの配備等により、一刻も早い社会機能回復を効果とする。
3-2	・「氾濫水」をより迅速に排水するための排水計画の作成について	排水計画に基づき排水訓練の実施について	H32年度	排水訓練については、担当課と協議・検討する。【実施済み】	【取組内容】 下水処理能力の向上や土のうの配備等により、一刻も早い社会機能回復を効果とする。
3-3	・排水計画に基づく排水訓練の実施	排水計画に基づく排水訓練の実施について	H32年度	排水訓練については、担当課と協議・検討する。【実施済み】	【取組内容】 現状の取組無し。
3-4	・排水計画に基づく排水訓練の実施	排水計画に基づく排水訓練の実施について	H32年度	排水訓練については、担当課と協議・検討する。【実施済み】	【取組内容】 現状の取組無し。
■ハード対策の主な取組					
(1) 洪水を河川内で安全に流す対策、危機管理型ハード対策					
4-1	・優先的に実施する堤防整備	優先的に実施する堤防整備について	H32年度		
4-1	・優先的に実施する堤防天端の保護	優先的に実施する堤防天端の保護について	H32年度		
(2) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備					
4-1	・簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	簡易・水位等の観測データ及び洪水等の状況を把握・伝達するための基盤の整備	H32年度		
1-17	・円滑かつ迅速な避難に資する施設(ハード)整備	住民等への情報伝達手段の整備について	H32年度	H28年度中に音声一斉配信サービスを導入予定。 H32年～34年にかけて防災無線のデジタル化を予定。 ・地区防災計画の策定。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 防災行政無線、車による巡回広報、ホームページ、メール配信サービス、ツイッター、LINE、タブレット文字放送による周知している。
2-10	・迅速な水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材の検討、配備や地域防災計画に基づく水防資機材等の配備、維持管理	利根川下流域の利根川本川の水防活動必要区間延長は長く、限られた水防団員による水防工法においては、負担軽減が考えられる。新技術を活用した水防資機材、水防資機材の配備について	引き続き実施	水防活動に効果的な資機材の情報を収集し、資機材の有用性に応じて配備を検討する。水防警報団体に協働・検討を行う。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 水防資機材に土嚢袋やロープ、シート等の水防資機材を備蓄している。また、要配慮者管理官に、新技術を含む水防資材等の情報提供を行う。
2-15	・氾濫形態に応じた排水施設の耐水化、庁舎の耐水対策の実施	排水施設の耐水化、庁舎等の重要施設の耐水対策について	H32年度	BCPの水災害対応計画に基づき検討する。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 重要施設である庁舎は浸水想定区域外であり、その他施設においては耐水対策の必要等を検討した上で対応していく。

具体的取組		目標時期	取組内容	H29年度までの実施状況	H29年度の実施状況
(1) 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組み					
1-1	・沿川市町：想定最大規模降雨における洪水を対象に基準の見直しについて検討する。 ・沿川市町以外：洪水浸水想定区域に基づく避難の発令対象区域を設定。また、必要に応じて避難の発令基準を修正	平成28年度から順次実施	地域防災計画において、小貝川・利根川洪水避難計画を策定し、避難の発令基準、対象区域を位置づけた。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 避難勧告等の発令に関する基準を定め、地域防災計画に具体的な避難勧告の発令基準を明記している(国のガイドライン(案)に基づき修正予定)。 【取組実施上の課題】	
1-2	・沿川市町：ロールプレイ等による統制を行いながらタイムラインの見直しを行う。 ・沿川市町以外：避難勧告に着目したタイムラインの作成	平成28年度から順次実施	避難対象住民等の意見を聴取し、タイムラインに基づく避難訓練の検討会にて整理し、検証を行っている。【検討会実施済み、検証については平成28年度から順次実施】	【取組内容】 避難勧告に着目したタイムラインを作成済み。 【取組実施上の課題】	
1-3 1-4 1-5	・広域避難計画の検討、策定と避難経路に関する検討、防災訓練などの機会を通じ避難場所の住民への周知を図る。	平成28年度から順次実施	現在、小貝川・利根川洪水避難計画を策定中。【H28年度から順次実施】 相模広域市町村圏内において相互広域に関する協定を結び、今後、広域避難計画に向けて、検討を行う。また、住民への周知については引き続き実施する。	【取組内容】 平成31年度以降に想定最大規模の浸水に対応したハザードマップを作成し、周知する予定である。 【取組実施上の課題】	
1-6	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表	平成28年度から順次実施	利根川と支川(小貝川・手賀川(沼)、印旛沼・常陸利根川(霞ヶ浦)等)同時の浸水想定区域図を策定した避難場所、避難経路等の想定について	【取組内容】 利根川の決壊のみを想定している。 【取組実施上の課題】	
1-7	・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さサポート)	平成29年度から順次実施	雨の降り方が変化していること等を踏まえた防災・減災対策の取組みについて		
1-8	・想定最大外力を反映した洪水HMの策定・周知	平成29年度から順次実施	計画規模の外力を対象とした洪水ハザードマップの作成、住民への周知について 想定最大規模の外力を対象とした洪水浸水想定区域図が公表された後、洪水ハザードマップの作成・周知を3年以内に行う予定について	【取組内容】 平成31年度以降に想定最大規模の浸水に対応したハザードマップを作成し、周知する予定である。 【取組実施上の課題】	
1-9	・首長も参加したロールプレイング等の実践的な避難訓練の実施	平成28年度から順次実施	自治会等も参加した避難訓練の実施について	【取組内容】 水災害に限定していないが、年1回、浸水想定区域内の地区において、自主防災組織等と避難訓練を実施。 【取組実施上の課題】	
1-10	・洪水情報のプッシュ配信の実施	平成29年度から順次実施	住民が自ら水害のリスクを察知し主体的に避難出来る取組について		
1-11	・スマホ等IT機器の活用を検討、避難訓練等の実施	平成28年度から順次実施	スマートフォン等のIT機器を活用した避難訓練等の実施について	【取組内容】 現状の取組無し(避難訓練を実施していない)。 【取組実施上の課題】	
1-12	・水防災意識社会に関する資料等の作成による広報の推進	平成29年度から順次実施	水防災意識社会に関する資料(提示用のパネル等)を作成する。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 広報誌やHPを利用した広報の推進を検討する。 【取組実施上の課題】	
1-13	・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	平成28年度から順次実施	水災害に関する住民からの問い合わせへの対応について	【取組内容】 質問内容を踏まえ、担当部署が個別に対応している。 【取組実施上の課題】	
1-14	・水防災に関する説明会の開催	平成28年度から順次実施	水防災について住民への周知に関する取組の実施について	【取組内容】 防災訓練等で水防災に関する講話を実施している。 【取組実施上の課題】	
1-15	・小中学校における防災教育の促進	平成28年度から順次実施	小中学校における水災害教育の実施について	【取組内容】 現状の取組無し(小中学校を対象とした水災害教育は実施していない)。 【取組実施上の課題】	
1-16	・教員を対象とした講習会の実施	H29年度から順次実施	水災害等の防災教育においては、学校教育が重要と考えています。学校の先生方への水災害等の理解促進の取組の実施について	【取組内容】 学校の先生への取組は実施していない。 【取組実施上の課題】	
1-18 1-19 1-20	・避難誘導体制の充実	H29年度から順次実施	水災害等の防災教育においては、学校教育が重要と考えています。学校の先生方への水災害等の理解促進の取組の実施について	【取組内容】 避難誘導は、市、消防、警察、水防団(消防団)、自主防災組織等が実施している。 【取組実施上の課題】	
			避難時にバスなどの公共交通機関による大量輸送の計画について	【取組内容】 現状の取組無し(作成無し)。 【取組実施上の課題】	
			洪水時における阿川管理者からの情報提供等(ボットラインの構築)について	小貝川・利根川洪水避難計画策定後、計画に基づいた訓練を行い、検証を行っている。また、阿川管理者に併せて、新田橋三倉市等のハザードマップを参考にまとめることとハザードマップを拡充予定。【平成29年度から順次実施】	利根川下流阿川事務所長とのボットラインを構築済み。
			阿川防災ステーションの整備について		該当無し。
			住民避難が円滑に行われるための工夫について	【取組内容】 避難所等の施設に関する案内表示板等を整備している。 【取組実施上の課題】	
1-21	・日常から水災害意識の向上を図る。とまごことHMの検討、整備や表示板等の整備推進	H32年度	避難所の表示看板の充実強化。【平成32年度から順次実施】	【取組内容】 浸水及び内水氾濫を想定した浸水ハザードマップを作成している。 【取組実施上の課題】	洪水及び内水氾濫を想定した浸水HMを作成している。
1-22	・要配慮者施設における避難計画の策定および訓練の実施促進、訓練の必要の啓発	H32年度	水災害に対応した計画を策定し、水災害対応の訓練を実施。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 浸水想定区域内に要配慮者施設無し。 【取組実施上の課題】	浸水想定エリア内に要配慮者施設なし。

具体的

■ハード対策の主な取り組み

(1) 洪水を河川内で安全に:

4-1	・優先的に実施する堤防整備	優先的に実施する堤防整備について	H32年度		
4-1	・優先的に実施する堤防天端の保護	優先的に実施する堤防天端の保護について	H32年度		
(2)避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備					
4-1	・簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	雨量・水位等の観測データ及び洪水等の状況を把握・伝達するための基盤の整備	H32年度		
1-17	・円滑かつ迅速な避難に資する施設（ハード）整備	住民等への情報伝達手段の整備について	H32年度	H28年度中に音声・斉配信サービスを導入予定。 H32年～34年にかけて防災無線のデジタル化を予定。 地区防災計画の策定、【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 防災行政無線や緊急速報メール、防災情報メール、市Web、ツイッター等による情報発信、広報車による周知、しらとりによる報道機関等への情報提供等を実施している。 【取組実施上の課題】
2-10	・迅速な水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材の検査、整備や地域防災計画に基づいた水防資機材等の配備、維持管理	利根川下流域の利根川本川の水防活動必要区間延長は長く、限られた水防員による水防工法に依りては、迅速な災害対応力強化された水防工法が有効と考えます。新技術を活用した資機材や、水防資機材の配備について	引き続き実施	水防活動に効果的な資機材の情報を収集し、資機材の有用性に応じて配備を検討する。水防管理団体会合、検討を行う。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 土嚢係やロープ、シート等の水防資機材を備蓄しているが、浸水範囲が市の一部に限定されているため、新技術を活用した水防資機材の配備は、当面行う予定が無い。 【取組実施上の課題】
2-15	・氾濫形態に応じた排水施設の耐水化、庁舎の耐水対策の実施	排水施設の耐水化、庁舎等の重要施設の耐水対策について	H32年度	BCPの水災害対応計画に基づき検討する。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 浸水想定区域内に庁舎等がないため、取組無し。 【取組実施上の課題】

令和5年度で実施する取組		実施する機関			
具体的取組		取組内容			
目標時期		H29年度までの実施状況			
H29年度の実施状況		H29年度の実施状況			
(2)洪水災害による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組み					
2-1	・水防に関する広報の推進	水防に関する広報の実施について	引き続き実施	水防に関する広報の推進。【実施済み】	【取組内容】 説明会、防災訓練等の機会を通じて水防について説明している。 HPや広報誌等による水防訓練の報告や水防の啓発ポスターの掲示等を実施している。 【取組実施上の課題】
2-2	・水防(防災)訓練の実施	水防訓練の実施について	引き続き実施	4年に1回を基準に実施していく。【実施済み】	【取組内容】 年1回水防訓練を実施している。 【取組実施上の課題】
2-3	・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	水防団への連絡系統の再確認や伝達訓練の実施について	引き続き実施	水防団への連絡体制の再確認を行う。 28年度で配属した携帯無線機等の通信訓練等を行っていき平成29年度から順次実施	【取組内容】 災害対策本部から水防団(消防団)への連絡体制を定めており、情報提供を実施している。 【取組実施上の課題】
2-4	・隣接市町町会間による水防訓練の取組を推進	利根川が決壊した場合、広域的な浸水となりますが、水防訓練を隣接市町会で行うなどの取組の実施について	H29年度から順次実施	「災害時等の相互応援に関する協定書」を県内市町村と締結済み。H28年度中に臨海広域消防本部管内市町村と災害時相互応援に関する協定締結を予定しているが、協議については検討を行う。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 柏市との二市共催による水防演習を実施している(H29年度は柏市にて開催)。 【取組実施上の課題】
2-5	・広域的な水防支援体制を推進	利根川下流域の破壊箇所によっては、一市町又は一水防事務組合の組織を認めることが想定されますが、そのような場合の取組について	H32年度	広域的な水防支援体制を構築している。 【取組実施上の課題】	【取組内容】 柏市との水防支援体制を構築している。 【取組実施上の課題】
2-6	・広域化、長期化する水防活動も視野に入れ、監視区間・頻度・内容の明確化を図る	水防監視要令後の監視区間・頻度・内容について	H28年度から順次実施	今後の状況に応じて監視頻度及び監視区間内容についても調整を図る。【平成28年度から実施】	【取組内容】 水防計画に河川監視の必要となる区間を位置づけている。 【取組実施上の課題】
2-7	・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定の促進	内水に対する水防活動以外に利根川の水防活動の実施について。また、水防協力団体の募集、指定について広報の実施について	引き続き実施	水防活動には、水防団の拡充が不可欠であり、市公式ホームページや団員募集の広告により、周知を行う。【実施済み】	【取組内容】 水防団員の募集は定期的に実施しているが、水防協力団体の募集はポスターを掲示しているのみで、水防団員は内水時など一年に1回であり、利根川の水防活動は困難な状況。 水防団員や水防協力団体の募集を行っている。 【取組実施上の課題】
2-8	・沿川市町、毎宅、水防団や地域住民が参加し洪水特性を考慮した水害リスクの高い箇所での共同点検の実施 ・沿川市町、水害リスクの高い地域への避難経路の呼びかけや防災啓発の場での住民等へ周知を図る。	水害リスクの高い箇所に関して水防団や地域住民との情報共有について	H28年度から順次実施	浸水想定区域内の多くの住民に対し、毎年河川事務所が実施する共同点検等の周知を回り、参加を推進する。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 住民を含めた共同点検を実施しているが、一部住民のみとなっている。 【取組実施上の課題】
2-9	・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	水防活動への重機使用等、建設会社の支援に関する協定の締結について	H28年度から順次実施	現在、建設業組合との間で協定を結んでいるが、適宜協定の拡充を検討する。【実施済み】	【取組内容】 水防活動に関して建設会社と支援の協定を締結している。 【取組実施上の課題】
2-11	・水害BCP策定に向けた検討	水害BCP(事業継続計画)の作成について	H32年度	現在策定済みの地震災害BCPの計画に基づき、水害について、一部追加・改訂を行う。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 浸水想定区域内に庁舎がないため、該当しない。 【取組実施上の課題】
2-12	・洪水や氾濫の特性も考慮した内容の氾濫を想定した対応マニュアルの作成	洪水時の庁舎等の機能確保のための対応マニュアルについて	H32年度	機能確保マニュアルについて、検討を行う。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 浸水想定区域内に庁舎がないため、該当しない。 【取組実施上の課題】
2-13	・大規模工場等への浸水リスクと水害対策等の周知活動の実施	大規模工場等へ浸水リスクの説明や水害対策等の啓発活動の実施について	H32年度	洪水ハザードマップ内に大規模工場等はないが、浸水想定区域内の企業に対しての啓発活動については検討を行う。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 浸水想定区域内に大規模工場がないため、該当しない。 【取組実施上の課題】
2-14	・自衛水防説明会等により市民へ周知	自治会等の自衛水防に関する周知について	H29年度から順次実施	現在は行っていないが、自主防災組織、防災士の活用を検討する。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 柏市との二市共催の水防演習で、自衛水防に関して近隣自治会への説明を行っている。 【取組実施上の課題】
(3)最も悪い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組み				【取組内容】 一定量の降雨量が確保される場合には、職員は早めの行動を行えるよう掛けしているほか、住民からの要望があれば、土の留め等の対応を行う。 【取組実施上の課題】	
3-1 3-2 3-3	・河口に近い特性も考慮した氾濫水を迅速に排水するための、排水設備の共有・排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	利根川本川支川の樋門等閉鎖による内水被害の発生への懸念について	H32年度	排水計画については、今後国土交通省より発出される想定最大規模を想定した氾濫シミュレーション公表後、排水計画の検証及び改訂の検討を行う。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 内水被害常態化等への対応が懸念される。 【取組実施上の課題】
3-4	・排水計画に基づく排水訓練の実施	排水計画に基づき排水訓練の実施について	H32年度	排水訓練については、担当課と協議・検討する。【実施済み】	【取組内容】 排水訓練を実施している(平成28年度～)。 【取組実施上の課題】
■ハード対策の主な取組み					
(1)洪水を河川内で安全に流す対策、危機管理型ハード対策					
4-1	・優先的に実施する堤防整備	優先的に実施する堤防整備について	H32年度		
4-1	・優先的に実施する堤防天端の保護	優先的に実施する堤防天端の保護について	H32年度		
(2)避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備					
4-1	・簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	雨量、水位等の観測データ及び洪水等の状況を把握・伝達するための基盤の整備	H32年度		
1-17	・円滑かつ迅速な避難に資する施設(ハード)整備	住民等への情報伝達手段等の整備について	H32年度	H28年度中に音声一斉配信サービスを導入予定。 H32年～34年にかけて防災無線のデジタル化を予定。 ・地区防災計画の策定。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 防災行政無線やコミュニティFM、緊急連絡メール、防災メール、取組Web、フェイスブック、ツイッター等による情報発信、広報車による周知、アラートによる報道機関等への情報提供等を実施している。 【取組実施上の課題】
2-10	・迅速な水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材の検討、利根川や地域防災計画(案)に水防資機材等の配備、維持管理	利根川下流域の利根川本川の水防活動必要区間延長は長く、限られた水防団員による水防工法においては、簡易または省力化された水防工法が有効と考えます。新技術を活用した水防資機材や、水防資機材の配備について	引き続き実施	水防活動に効果的な資機材の情報を収集し、資機材の有効性に応じて配備を検討する。水防管理団体と協議、検討を行う。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 水防資機材等に土壌表やロープ、シート等の水防資機材を備蓄している。 【取組実施上の課題】
2-15	・氾濫形態に応じた排水施設の耐水化、庁舎の耐水対策の実施	排水施設の耐水化、庁舎等の重要施設の耐水対策について	H32年度	BCPの水害対応計画に基づき検討する。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 施設は高台にあるため対策の必要はない。 【取組実施上の課題】

事項

具体

■ハード対策の主な取り組み

■ソフト対策の

31/66

〇概ね5年で実施する取組

具体的な取組の目標		目標時期	実施する機関				
具体的取組			取組内容	H29年度までの実施状況	H29年度の実施状況		
(2)洪水災害による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取り組み							
2-1	・水防に関する広報の推進	水防に関する広報の実施について	引き続き実施	水防に関する広報の推進。【実施済み】	【取組内容】 啓発ポスター等の掲示。 【取組実施上の課題】	啓発ポスター等の掲示	
2-2	・水防(防災)訓練の実施	水防訓練の実施について	引き続き実施	4年に1回を基準に実施していく。【実施済み】	【取組内容】 ※年度水防団で水防訓練に参加(実施) 【取組実施上の課題】	H29年度未実施 H30年度実施	
2-3	・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	水防団への連絡体制の再確認や伝達訓練の実施について	引き続き実施	水防団への連絡体制の再確認を行う。28年度で配備した携帯型無線機等の通信訓練等を行っている【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 災害対策本部から水防団(消防団)への連絡体制を定めており、情報提供を実施している。 【取組実施上の課題】	連絡体制構築済み(避難訓練未実施)	
2-4	・隣接市町合同による水防訓練の取組を推進	利根川が決壊した場合、広域的な浸水となりますが、水防訓練を隣接市町と合同で行うなどの取組の実施について	H29年度から順次実施	「災害時等の相互応援に関する協定書」を豊内市町村と締結済み。H28年度中に利根川流域内市町村と合同で水防訓練を実施し、関係する水防団等と連携しているが、訓練については検討を行う。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 ※年度水防団で水防訓練に参加(実施) 【取組実施上の課題】	H29年度未実施 度実施	H30年
2-5	・広域的な水防支援体制を推進	利根川下流域の破壊箇所によっては一市町又は一水防事務組合の範囲を超えることが想定されますが、そのような場合の取組について	H32年度	広域的な水防支援体制の構築について支援体制の推進・連携強化を図る。【平成28年度から実施】	【取組内容】 災害時特互互援助協定を締結しており要請があれば協力可能である。 【取組実施上の課題】	現状の取組無し	
2-6	・広域化、長期化する水防活動も視野に入れ、避難期間・頻度・内容の明確化を図る	水防警報発令後の避難期間・頻度・内容について	H28年度から順次実施	今後の状況に応じて避難頻度及び避難内容についても調整を図る。【平成28年度から実施】	【取組内容】 該当なし。 【取組実施上の課題】	沼川市町外のため現状の取組無し	
2-7	・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定の促進	内水に対する水防活動以外に利根川の水防活動の実施について、また、水防協力団体の募集、指定についての広報の実施について	引き続き実施	水防活動には、水防団の指定が不可欠であり、市公式ホームページや団員募集の広告により、周知を行う。【実施済み】	【取組内容】 実施済み(消防団) 【取組実施上の課題】	消防団(水防団)の募集活動を実施	
2-8	・沼川市町：毎年、水防団や地域住民が参加し、洪水特性を考慮した水害リスクの高い市町の共同点検の実施 ・沼川市町外：水害リスクの高い地域への訓練実施の呼びかけや防災啓発の場での住民等へ周知を図る。	水害リスクの高い箇所に関して水防団や地域住民との情報共有について	H28年度から順次実施	浸水想定区域内の多くの住民に対し、毎年沼川市町が実施する共同点検等の周知を図り、参加を促進する。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 該当なし。 【取組実施上の課題】	現状の取組無し	
2-9	・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	水防活動への重機使用等、建設会社の支援に関する協定の締結について	H28年度から順次実施	現在、建設業者等との間で協定を結んでいるが、適宜協定の拡充を検討する。【実施済み】	【取組内容】 災害時特互互援助協定を締結済み(実施済み) 【取組実施上の課題】	現状の取組無し	
2-11	・水害BCP策定に向けた検討	水害BCP(事業継続計画)の作成について	H32年度	現在策定済みの地震災害BCPの計画に基づき、水災について一部追加・改訂を行う。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 該当なし。 【取組実施上の課題】	現状の取組無し	
2-12	・洪水や氾濫の特性も考慮した内容の氾濫を想定した対応マニュアルの作成	洪水時の庁舎等の機能確保のための対応マニュアルについて	H32年度	機能確保マニュアルについて、検討を行う。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 該当なし。 【取組実施上の課題】	該当なし(浸水想定区域内に庁舎等公共施設が無い)	
2-13	・大規模工場等への浸水リスクと水害対策等の周知活動の実施	大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動の実施について	H32年度	洪水ハザードマップ内に大規模工場等はないが、浸水想定区域内の企業に対しての啓発活動については検討を行う。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 該当なし。 【取組実施上の課題】	該当なし(浸水想定区域内に大規模工場等無し)	
2-14	・自衛水防を説明会等により市民へ周知	自治会等の自衛水防に関する周知について	H29年度から順次実施	現在行っていないが、自主防災組織、防災士の活用を検討する。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 現状の取組無し。 【取組実施上の課題】	現状の取組無し	
(3)一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取り組み							
3-1	・河川に近い特性も考慮した氾濫水を迅速に排水するための、排水施設情報の共有・排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	利根川が決壊による浸水に対する、現状の配置計画の増強な住民避難や早期の社会機能回復の実現について	H32年度	排水計画については、今後国土交通省より発出される想定最大規模を想定した氾濫シミュレーションを数値、排水計画の策定及び改訂の検討を行う。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 【取組実施上の課題】	取組無し	
3-2	・河川に近い特性も考慮した氾濫水を迅速に排水するための、排水施設情報の共有・排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	利根川(本川)支川の堤防等開閉による内水被害の発生を抑制するための排水計画の作成について		排水計画については、今後国土交通省より発出される想定最大規模を想定した氾濫シミュレーションを数値、排水計画の策定及び改訂の検討を行う。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 【取組実施上の課題】	懸念される	
3-3	・河川に近い特性も考慮した氾濫水をより迅速に排水するための排水計画の作成について	氾濫水をより迅速に排水するための排水計画の作成について		排水計画については、今後国土交通省より発出される想定最大規模を想定した氾濫シミュレーションを数値、排水計画の策定及び改訂の検討を行う。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 連絡体制は確保され、農産物排水による運用を継続している。農産物の排水設備稼働で対応が可能である。 【取組実施上の課題】	現状の取組無し(計画の策定無し)	
3-4	・排水計画に基づく排水訓練の実施	排水計画に基づく排水訓練の実施について	H32年度	排水訓練については、担当課と協議・検討する。【実施済み】	【取組内容】 実施していない 【取組実施上の課題】	現状の取組無し(排水計画無し)	
■ハード対策の主な取り組み							
(1)洪水を河川内で安全に流す対策、危機管理型ハード対策							
4-1	・優先的に実施する堤防整備	優先的に実施する堤防整備について	H32年度				
4-1	・優先的に実施する堤防天端の保護	優先的に実施する堤防天端の保護について	H32年度				
(2)避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備							
4-1	・簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	雨量・水位等の観測データ及び洪水等の状況を把握・伝達するための基盤の整備	H32年度				
1-17	・円滑かつ迅速な避難に資する施設(ハード)整備	住民等への情報伝達手段の整備について	H32年度	H28年度中に音声一斉配信サービスを導入予定。 H32年～34年にかけて防災無線のデジタル化を予定。 ・地区防災計画の策定。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 防災行政無線サービスはH29年度運用開始 防災メールをH30年度運用開始予定 【取組実施上の課題】	防災行政無線デジタル化工事を平成28年度より実施H30年度は予高10局の更新を完了 防災行政無線サービス及び防災メール配信サービスの整備	
2-10	・迅速な水防活動を支えるための新技術を活用した水防機材の検討、配備や地域防災計画に基づく水防機材等の配備、維持管理	利根川下流域の利根川本川の水防活動必要区間延長は長く、限られた水防団員による水防活動においては、新機材または省力化された水防工法が有効と考えます。新技術を活用した水防機材や、水防資機材の配備について	引き続き実施	水防活動に効果的な資機材の情報を収集し、資機材の有効性に応じて配備を検討する。水防管理団体と協議、検討を行う。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 【取組実施上の課題】	土のうの整備(毎年購入)	
2-15	・氾濫形態に応じた排水施設の耐水化、庁舎の耐水対策の実施	排水施設の耐水化、庁舎等の重要施設の耐水対策について	H32年度	BCPの水災害対応計画に基づき検討する。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 該当なし。 【取組実施上の課題】	該当なし(庁舎等公共施設は全て浸水想定区域外)	

	実施内容	実施時期	取組内容	H29年度までの実施状況	H29年度の実施状況
1-1	・「自治体防災計画」の策定 ・「自治体防災計画」の見直しについて検討する。 ・「自治体防災計画」の見直しについて検討する。 ・「自治体防災計画」の見直しについて検討する。	平成28年度から順次実施	地域防災計画において、小貝川・利根川洪水避難計画を策定し、避難の発令基準、対象区域を位置づけた。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 地域防災計画を現在見直し中であり、避難勧告の発令基準を明記する予定である。 【取組実施上の課題】	避難勧告等の発令に関する基準を定め、地域防災計画に具体的な避難勧告の発令基準を明記している。
1-2	・「自治体防災計画」の見直しについて検討する。 ・「自治体防災計画」の見直しについて検討する。 ・「自治体防災計画」の見直しについて検討する。	平成28年度から順次実施	避難対象住民等の意見を聴取し、タイムラインに基づく避難訓練の検討会にて整理し、検証を行う。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 避難勧告に着目したタイムラインは作成済みである。 【取組実施上の課題】	避難勧告に着目したタイムラインは作成済みである。
1-3 1-4 1-5	・「広域避難計画」の検討、策定や避難経路に関する検討、防災訓練などを実施することによる住民の避難について、また、ハザードマップで避難場所までの避難経路の指定状況について	平成28年度から順次実施	現在、小貝川・利根川洪水避難計画を策定中。【H28年度から順次実施】 相模原市防災計画において相互応援による協定を結び、今後、広域避難計画に向けて、検討を行う。また、住民への周知については引き続き実施する。	【取組内容】 H30年度に想定最大規模降雨に対応した洪水ハザードマップを検討予定である。 【取組実施上の課題】	現状の取組無し。（避難場所は指定しているが、避難経路の指定はしていない）
1-6	・「想定最大規模降雨」による洪水浸水想定区域図、花道シミュレーションの公表	H29年度			
1-7	・「気象情報発表時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さサポート）」	平成29年度から順次実施			
1-8	・「想定最大外力を反映した洪水HMの策定、周知」	平成29年度から順次実施	計画規模の外力を対象とした洪水ハザードマップの作成、住民への周知について、 【平成29年度から順次実施】 想定最大規模降雨による洪水浸水区域の公表に伴い、ハザードマップや市で作成している防災の手引きの改定を行う。	【取組内容】 H30年度に想定最大規模降雨に対応した洪水ハザードマップを検討予定である。 【取組実施上の課題】	実施していない。
1-9	・「首長も参加したロールプレイング等の実践的な避難訓練の実施」	平成28年度から順次実施	引き続き、首長も参加する水害対策の実践的な避難訓練を実施していく。【実施済み】	【取組内容】 H30年度に実施予定である。 【取組実施上の課題】	現状の取組無し。
1-10	・「洪水情報のプッシュ型配信の実施」	平成29年度から順次実施	住民が自ら水害のリスクを感知し主体的に避難出来る取組について		
1-11	・「スマホ等IT機器の活用を検討、避難訓練等の実施」	平成28年度から順次実施	今後はスマホ等IT機器を用いた訓練を継続していく。【実施済み】	【取組内容】 H30年度以降の実施に向けた検討を行う。 【取組実施上の課題】	現状の取組無し。（避難訓練を実施していない）
1-12	・「防災意識醸成に関する資料等の作成による広報の推進」	平成29年度から順次実施	水防災害社会に関する資料（提示用のパネル等）を作成する。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 広報CPRを行っている。 【取組実施上の課題】	無し。
1-13	・「水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置」	平成28年度から順次実施	危機管理室で対応する。【実施済み】	【取組内容】 質問内容を踏まえ、担当部署が個別に対応している。 【取組実施上の課題】	質問内容を踏まえ、担当部署が個別に対応している。
1-14	・「水防災に関する説明会の開催」	平成28年度から順次実施	要望により、水防災に対する説明会を行っていく。【実施済み】	【取組内容】 共同点検で説明しているが、市主催の説明会は実施していない。 【取組実施上の課題】	共同点検で説明しているのみ。
1-15	・「小学校における防災教育の促進」	平成28年度から順次実施	引き続き、小学校を対象とした水災害教育を実施する。【実施済み】	【取組内容】 H29年度末に水防学校を対象に実施予定である。 【取組実施上の課題】 授業のカリキュラムの中に取り入れてもらうのに時間を要する。	2月22日に家町立布小中学校で水防学校を実施
1-16	・「教員を対象とした講習会の実施」	H29年度から順次実施	今後、教員向けの講習会の実施を教育委員会と調整する。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 H29年度末に水防学校への防災教育時、教職員向けの講習も実施予定である。 【取組実施上の課題】	学校の先生への取組は実施していない。
1-17	・「避難誘導体制の構築」			【取組内容】 避難誘導は、町、消防、警察、水防団（消防団）、自主防災組織等が実施している。 【取組実施上の課題】	避難誘導は、町、消防、警察、水防団（消防団）、自主防災組織等が実施している。
1-18 1-19 1-20	・「避難誘導体制の充実」	H29年度から順次実施	小貝川・利根川洪水避難計画策定後、計画に基づいた訓練を行い、検証を行っている。また、同計画策定に伴って、関係機関との連携強化を図る。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 ホットラインは構築済みである。 【取組実施上の課題】	現状の取組無し。（作成無し）
1-21	・「日常から水災害意識の向上を図るため、まちごとHMの検討、整備や表示板等の整備推進」	H32年度	避難所の表示看板の充実化。【平成32年度から順次実施】	【取組内容】 避難所等の施設に関する案内表示板等を整備している。 【取組実施上の課題】	実施している。
1-22	・「要配慮者施設における避難計画の策定および訓練の実施促進、訓練の必要性の啓発」	H32年度	水災害に対応した計画を策定し、水災害対応の訓練を実施。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 現状では実施していないが、今後検討を行う。 【取組実施上の課題】	現状の取組無し。（避難計画を策定していない）

事项	具体内容
1. 项目背景	项目背景、项目意义、项目目标、项目范围、项目组织、项目资源、项目风险、项目沟通、项目控制、项目收尾
2. 项目计划	项目计划、项目计划、项目计划、项目计划、项目计划、项目计划、项目计划、项目计划、项目计划、项目计划
3. 项目执行	项目执行、项目执行、项目执行、项目执行、项目执行、项目执行、项目执行、项目执行、项目执行、项目执行
4. 项目监控	项目监控、项目监控、项目监控、项目监控、项目监控、项目监控、项目监控、项目监控、项目监控、项目监控
5. 项目收尾	项目收尾、项目收尾、项目收尾、项目收尾、项目收尾、项目收尾、项目收尾、项目收尾、项目收尾、项目收尾

(1)洪水を河川内で安全に流す対策、危機管理型ハード対策

〇概ね5年で実施する取組

実施する取組の概要	実施する取組の概要	実施する取組の概要	実施する取組の概要	実施する取組の概要	実施する期間	
					令和5年度	H29年度
実施する取組の概要	実施する取組の概要	実施する取組の概要	実施する取組の概要	実施する取組の概要	H29年度までの実施状況	H29年度の実施状況
■ソフト対策の主な取り組み						
(1) 逃げ遅れを防止するための迅速かつ的確な避難行動のための取り組み						
1-1	・沿川市町：想定最大規模降雨における洪水を対象に基準の見直しについて検討する。 ・沿川市町以外：洪水浸水想定区域に基づく避難の発令対象区域を設定。また、必要に応じて避難の発令基準を修正	避難に関する発令基準（対象区域・判断基準）の位置づけについて	平成28年度から順次実施	地域防災計画において、小貝川・利根川洪水避難計画を策定し、避難の発令基準、対象区域を位置づけた。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 避難勧告等の発令に関する基準を定め、具体的な避難勧告の発令基準を明記している。（国のガイドライン策に基づき修正済み） 【取組実施上の課題】	
1-2	・沿川市町：ロールプレイ等による検討を行いながらタイムラインの見直しを行う。 ・沿川市町以外：避難勧告に着目したタイムラインの作成	避難勧告に着目したタイムラインの策定について	平成28年度から順次実施	避難対象住民等の意見を聴取し、タイムラインに基づき避難訓練の検討会にて整理し、検証を行っていく。【検討会実施済み。検証については平成28年度から順次実施】	【取組内容】 避難勧告に着目したタイムラインは作成済みである。 【取組実施上の課題】	
1-3 1-4 1-5	・広域避難計画の検討、策定や避難経路に関する検討、防災訓練などの機会を通じ避難場所の住民への周知を図る。	利根川の決壊により広範囲に浸水することが予想された場合、避難経路による住民の避難について、また、ハザードマップで避難場所までの避難経路の指定状況について	平成28年度から順次実施	現在、小貝川・利根川洪水避難計画を策定中。【H28年度から順次実施】 鉾田・小貝川・利根川洪水避難計画を策定中。【H28年度から順次実施】 鉾田・小貝川・利根川洪水避難計画を策定中。【H28年度から順次実施】 鉾田・小貝川・利根川洪水避難計画を策定中。【H28年度から順次実施】 鉾田・小貝川・利根川洪水避難計画を策定中。【H28年度から順次実施】	【取組内容】 避難場所等は指定しており、計画規模の洪水に対するハザードマップ（HPおよび紙）により周知している。 【取組実施上の課題】	
1-6	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、汎用シミュレーションの公表	想定最大規模降雨の場合の住民避難について	H29年度			
1-7	・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「避難経路の確保」等の改善（水害時の情報入手のし易さサポート）	雨の降り方が変化していることを踏まえた防災・減災対策の取り組みについて	平成29年度から順次実施			
1-8	・想定最大外力を反映した洪水ハMの策定・周知	計画規模の外力を対象とした洪水ハザードマップの作成、住民への周知について	平成29年度から順次実施	防災の手引き、ハザードマップにより周知を図る。【平成29年度から順次実施】 想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域の公表に伴い、ハザードマップや市で作成している防災の手引きの改定を行う。	【取組内容】 計画規模降雨の洪水ハザードマップは作成し、住民へ周知済みである。但し文通等の洪水浸水想定区域図の公表後、5年以内に公表する予定である。 【取組実施上の課題】 想定最大外力のHMについては、町では細かいデータや知識等を保有していないことから、どのような見せ方が町民に理解されやすいかについて、町民主体の避難訓練に一部住民も参加している（参加は自治会等） 【取組実施上の課題】	
1-9	・市民も参加したロールプレイ等の実施	自治会等も参加した避難訓練の実施について	平成28年度から順次実施	引き続き、市民も参加する水害対応の実践的な避難訓練を実施していく。【実施済み】	【取組実施上の課題】	
1-10	・洪水情報のプッシュ型配信の実施	住民が自ら水害のリスクを感知し主体的に避難出来る取組について	平成29年度から順次実施			
1-11	・スマホ等IT機器の活用を検討、避難訓練等の実施	スマートフォン等のIT機器を活用した避難訓練の実施について	平成28年度から順次実施	今後もスマホ等IT機器を用いた訓練を継続していく。【実施済み】	【取組内容】 防災訓練内でスマートフォン等を用いてメール送信および受信の訓練を実施している。 【取組実施上の課題】	
1-12	・水防災意識社会に関する資料等の作成による広報の推進	水防災意識社会の説明資料等の有無について	平成29年度から順次実施	水防災意識社会に関する資料（提示用のパネル等）を作成する。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 現状の取組無し。（国等から資料が提供されれば掲載・配布を行える体制は整っている） 【取組実施上の課題】 自治会では専門領域の職員がおりどんな資料がよいかわからない。 【取組内容】 総務課が窓口となり、内容に応じて各課に取り次いでいる。 【取組実施上の課題】	
1-13	・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	水災害に関する住民からの問い合わせへの対応について	平成28年度から順次実施	危機管理室で対応する。【実施済み】	【取組実施上の課題】	
1-14	・水防災に関する説明会の開催	水防災について住民への周知に関する取組の実施について	平成28年度から順次実施	要望により、水防災に対する説明会を行っていく。【実施済み】	【取組内容】 今年度は取組無し。 【取組実施上の課題】 町の規模が小さいため、町主体で説明会を実施することは難しい。近隣市町合同での開催が望ましいと考えている。	
1-15	・小中学校における防災教育の促進	小中学校における水災害教育の実施について	平成28年度から順次実施	引き続き、小中学校を対象とした水災害教育を実施する。【実施済み】	【取組内容】 現状の取組無し。（小中学校を対象とした水災害教育は実施していない） 【取組実施上の課題】	
1-16	・教員を対象とした講習会の実施	水災害等の防災教育においては、学校教育が重要と考えています。学校の先生方への水災害等の理解促進の取組の実施について	H29年度から順次実施	今後、教職員向けの講習会の実施を教育委員会と調整する。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 現状の取組無し（学校の先生への講習は町主体では難しいと判断している）。 【取組実施上の課題】	
1-18 1-19 1-20	・避難誘導体制の充実	避難誘導体制の地域防災計画等での位置づけについて 避難時にバスなどの公共交通機関による大規模輸送の計画について 洪水時における河川管理者からの情報提供等（ホットラインの構築）について 河川防災ステーションの整備について 住民避難が円滑に行われるための工夫について	H29年度から順次実施	小貝川・利根川洪水避難計画策定後、計画に基づいた訓練を行い、検証を行っていく。また、前計画策定に併せて、鉾田県三倉市等のハザードマップを参考にする。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 避難誘導は、町、消防、警察、水防団（消防団）、自主防災組織等が実施している。 【取組実施上の課題】 【取組内容】 現状の取組無し。（人口が少ない、面積が小さい等、同時に大規模な輸送を行う状況が町の実態に合っており、不要だと判断している） 【取組実施上の課題】 【取組内容】 町内に河川防災ステーションはない。 【取組実施上の課題】 【取組内容】 避難場所誘導案内付電柱広告に関する協定を東京電力グループ広告代理事業者と締結しているが、現状実施無し。 【取組実施上の課題】	
1-21	・日常から水災害意識の向上を図り、迅速な避難を実現するため、まちごととハザードマップ等、迅速な避難を実現するための取組について	避難所の表示看板やまちごととまちごとハザードマップ等、迅速な避難を実現するための取組について	H32年度	避難所の表示看板の充実強化。【平成32年度から順次実施】	【取組内容】 実施を検討中。 【取組実施上の課題】	
1-22	・要配慮者施設における避難計画の策定および訓練の実施促進、訓練の必要の普及	要配慮者施設における避難計画の策定及び訓練の実施について	H32年度	水災害に対応した計画を策定し、水災害対応の訓練を啓発・実施する。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 町内の要配慮者施設で計画を作成し訓練を実施しているとの報告を受けている。 【取組実施上の課題】	

・沿川市町：想定
はる洪水を対象

41/6

〇概ね5年で実施する取組

実施する取組の年度		目標時期	取組内容	実施する期間		
年度				実行期	H29年度までの実施状況	
(2)洪水による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組み						
2-1	・水防に関する広報の推進	水防に関する広報の実施について	引き継ぎ実施	水防に関する広報の推進。【実施済み】	【取組内容】 地区代表区長に対して、防災訓練等の機会を通じて水防について説明している。 【取組実施上の課題】	地区代表区長に対して、防災訓練等の機会を通じて水防について説明している。
2-2	・水防(防災)訓練の実施	水防訓練の実施について	引き継ぎ実施	4年に1回を基準に実施していく。【実施済み】	【取組内容】 年1回防災訓練(一部水防内容あり)を実施している。 【取組実施上の課題】	年1回防災訓練(一部水防内容あり)を実施している。
2-3	・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	水防団への連絡系統の再確認や伝達訓練の実施について	引き継ぎ実施	水防団への連絡体制の再確認を行う。28年度で整備した携帯型無線機等の通信訓練等を行っていく【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 消防から水防団(消防団)への連絡体制を定めており、情報提供を実施している。 【取組実施上の課題】	消防から水防団(消防団)への連絡体制を定めており、情報提供を実施している。
2-4	・隣接市町合同による水防訓練の取組を推進	利根川が決壊した場合、広域的な浸水となりますが、水防訓練を隣接市町と合同で行うなどの取組の実施について	H29年度から順次実施	【取組内容】 「災害時等の相互応援に関する協定書」を県内市町村と締結済み。H28年度中に巨勢、広域消防本部管内市町村と災害時相互応援に関する協定締結を予定しているが、訓練については検討を行う。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 市独自の防災訓練のほかに、香取土木事務所(県)主催の合同の水防訓練に参加している。 【取組実施上の課題】	市独自の防災訓練のほかに、香取土木事務所(県)主催の合同の水防訓練に参加している。
2-5	・広域的な水防支援体制を推進	利根川下流域の破壊箇所によっては、一市町又は一水防事務組合の範囲を超えることが想定されますが、そのような場合の取組について	H32年度	広域的な事務組合相互の水防活動について支援体制の推進・連携強化を図る。【平成28年度から実施】	【取組内容】 市独自の防災訓練のほかに、香取土木事務所(県)主催の合同の水防訓練に参加している。 【取組実施上の課題】	市独自の防災訓練のほかに、香取土木事務所(県)主催の合同の水防訓練に参加している。
2-6	・広域化、長期化する水防活動も視野に入れ、近視区間・頻度・内容の明確化を図る	水防警報発令後の近視区間・頻度・内容について	H28年度から順次実施	今後の状況に応じて近視区間及び近視区間についても調査を図る。【平成28年度から実施】	【取組内容】 H30年度の地域防災計画の更新時に検討を行う。 【取組実施上の課題】	H30年度の地域防災計画の更新時に検討を行う。
2-7	・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定の促進	内水に対する水防活動以外に利根川の水防活動の実施について。また、水防協力団体の募集、指定についての広報の実施について	引き継ぎ実施	水防活動には、水防団の拡充が不可欠であり、市公式ホームページや防災事業の広告により、周知を行う。【実施済み】	【取組内容】 定期人数を満たしており、不足があれば適宜募集している。 【取組実施上の課題】	定期人数を満たしており、不足があれば適宜募集している。
2-8	・沿川市町：毎年、水防団や地域住民が参加し、洪水特性を考慮した水害リスクの高い箇所の共同点検の実施 ・沿川市町外：水害リスクの高い地域への訓練実施の呼びかけや防災啓発の場で住民等へ周知を図る	水害リスクの高い箇所に限らず水防団や地域住民との情報共有について	H28年度から順次実施	浸水想定区域内の多くの住民に対し、毎年河川事務所が実施する共同点検等の周知を図り、参加を推進する。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 共同点検により実施している。 【取組実施上の課題】	共同点検により実施している。
2-9	・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	水防活動への重機使用等、建設会社の支援に関する協定の締結について	H28年度から順次実施	現在、建設業組合との間で協定を結んでいるが、適宜協定の拡充を検討する。【実施済み】	【取組内容】 水防活動に関して建設会社と支援の協定を締結している。 【取組実施上の課題】	水防活動に関して建設会社と支援の協定を締結している。
2-11	・水害BCP策定に向けた検討	水害BCP(事業継続計画)の作成について	H32年度	現在策定済みの地震災害BCPの計画に基づき、水災害について、一部追加・改訂を行う。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 H30年度の地域防災計画見直しの中で、水害BCPについても反映する予定である。 【取組実施上の課題】	H30年度の地域防災計画見直しの中で、水害BCPについても反映する予定である。
2-12	・洪水や氾濫の特性も考慮した内容の災害を想定した対応マニュアルの作成	洪水時の庁舎等の機能確保のための対応マニュアルについて	H32年度	機能確保マニュアルについて、検討を行う。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 H30年度の地域防災計画見直しの中で、水害BCPについても反映する予定である。 【取組実施上の課題】	H30年度の地域防災計画見直しの中で、水害BCPについても反映する予定である。
2-13	・大規模工場等への浸水リスクと水害対策等の周知活動の実施	大規模工場等へ浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動の実施について	H32年度	洪水ハザードマップ内に大規模工場等はないが、浸水想定区域内の企業に対しての啓発活動については検討を行う。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 浸水想定区域外のため不要。 【取組実施上の課題】	浸水想定区域外のため不要。
2-14	・自衛水防の説明会等により市民へ周知	自治会等の自衛水防に関する周知について	H29年度から順次実施	現在行っていないが、自主防災組織、防災士の活用を検討する。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 地区代表区長に対して、防災訓練等の機会を通じて水防について説明している。 【取組実施上の課題】	地区代表区長に対して、防災訓練等の機会を通じて水防について説明している。
(3)一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組み						
3-1 3-2 3-3	・河口に近い特性も考慮した氾濫水を迅速に排水するための、排水施設情報の共有・排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	利根川(利根川支川の樋門等閉鎖による内水被害の発生)の懸念について	H32年度	排水計画については、今後国土交通省より発表される想定最大規模を想定した氾濫シミュレーション公表後、排水計画の検証及び改訂の検討を行う。【平成29年度から順次実施】	【取組内容】 樋門やポンプの操作運用で被害軽減に繋がらない場合には、住民避難への呼びかけ等の対応を行う。 【取組実施上の課題】	樋門やポンプの操作運用で被害軽減に繋がらない場合には、住民避難への呼びかけ等の対応を行う。
3-2 3-3	・氾濫水をより迅速に排水するための排水計画の作成について	排水計画に基づき排水訓練の実施について	H32年度	排水訓練については、担当課と協議・検討する。【実施済み】	【取組内容】 内水被害の常設箇所(2箇所の樋門)で懸念される。 【取組実施上の課題】	内水被害の常設箇所(2箇所の樋門)で懸念される。
3-4	・排水計画に基づく排水訓練の実施	排水計画に基づき排水訓練の実施について	H32年度	排水訓練については、担当課と協議・検討する。【実施済み】	【取組内容】 内水被害の常設箇所について、樋門操作運用やポンプの操作運用を行っているが、詳細の計画は作成していない。 【取組実施上の課題】	内水被害の常設箇所について、樋門操作運用やポンプの操作運用を行っているが、詳細の計画は作成していない。
3-4	・排水計画に基づく排水訓練の実施	排水計画に基づき排水訓練の実施について	H32年度	排水訓練については、担当課と協議・検討する。【実施済み】	【取組内容】 樋門の操作訓練、ポンプの操作訓練を実施している。 【取組実施上の課題】	樋門の操作訓練、ポンプの操作訓練を実施している。
■ハード対策の主な取組み						
(1)洪水を河川内で安全に流す対策、危機管理型ハード対策						
4-1	・優先的に実施する堤防整備	優先的に実施する堤防整備について	H32年度			
4-1	・優先的に実施する堤防天端の保護	優先的に実施する堤防天端の保護について	H32年度			
(2)避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備						
4-1	・簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	簡易・水位等の観測データ及び洪水等の状況を把握・伝達するための基盤の整備	H32年度			
1-17	・円滑かつ迅速な避難に資する施設(ハード)整備	住民等への情報伝達手段の整備について	H32年度	H28年度中に音声一斉配信サービスを導入予定。 H32年～34年にかけて防災無線のデジタル化を予定。 地区防災計画の策定。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 防災行政無線や、緊急通報メール、防災メール、市Web、等による情報発信、広報車による周知、アラートによる報道機関等への情報提供等を実施している。 【取組実施上の課題】	防災行政無線や、緊急通報メール、防災メール、市Web、等による情報発信、広報車による周知、アラートによる報道機関等への情報提供等を実施している。
2-10	・迅速な水防活動を支援するための、新技術を活用した水防資機材の検討、配備や地域防災計画に基づく水防資機材等の配備、維持管理	利根川下流域の利根川本川の水防活動必要区間延長は長く、限られた水防団員による水防工法においては、難航または劣化した水防工法が有効と考えます。新技術を活用した水防資機材や、水防資機材の配備について	引き継ぎ実施	水防活動に効果的な資機材の情報を収集し、資機材の有効性に応じて配備を検討する。水防管理団体と協議、検討を行う。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 水防資機材に土嚢袋やロープ、シート等の水防資機材を備蓄しているが、新技術を活用した水防資機材の配備なし。 【取組実施上の課題】	水防資機材に土嚢袋やロープ、シート等の水防資機材を備蓄しているが、新技術を活用した水防資機材の配備なし。
2-15	・氾濫形態に応じた排水施設の耐水化、庁舎の耐水対策の実施	排水施設の耐水化、庁舎等の重要施設の耐水対策について	H32年度	BCPの水災害対応計画に基づき検討する。【平成28年度から順次実施】	【取組内容】 非常用電源は屋上のため、対策の必要はない。 【取組実施上の課題】	非常用電源は屋上のため、対策の必要はない。

具体的な取組の柱

〇概ね5年で実施する取組			実施する機関			
具体的な取組の仕			目標時期	利根川水系黒瀬水防事務組合		H29年度の実施状況
系統別取組				取組内容	H29年度までの実施状況	
(2)洪水被害による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組み						
2-1	・水防に関する広報の推進	水防に関する広報の実施について	引き続き実施	自治体の活動に協力・補完すること。【概ね5年以内】	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-2	・水防(防災)訓練の実施	水防訓練の実施について	引き続き実施	毎年実施している。【概ね5年以内】	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-3	・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	水防団への連絡系統の再確認や伝達訓練の実施について	引き続き実施	水防協議会・水防訓練で確認訓練を実施している。【概ね5年以内】	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-4	・隣接市町合同による水防訓練の取組を推進	利根川が決壊した場合、広域的な浸水となりますが、水防訓練を隣接市町と合同で行うなどの取組の実施について	H29年度から順次実施	稲敷広域と毎年実施している。【概ね5年以内】	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-5	・広域的な水防支援体制を推進	利根川下流域の破壊箇所によっては、一市町又は一水防事務組合の範囲を超えることが想定されますが、そのような場合の取組について	H32年度	お互いに合同訓練を実施して、応援することを前提となっている。【概ね5年以内】	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-6	・広域化、長期化する水防活動も視野に入れ、監視区間・頻度・内容の明確化を図る	水防警報発令後の監視区間・頻度・内容について	H28年度から順次実施	水防計画や水防協議会で確認している。【概ね5年以内】	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-7	・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定の促進	内水に対する水防活動以外に利根川の水防活動の実施について。また、水防協力団体の募集、指定についての広報の実施について	引き続き実施	自治体対応に協力していく。	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-8	・沿川市町：毎年、水防団や地域住民が参加し、洪水特性を考慮した水害リスクの高い箇所の共同点検の実施 ・沿川市町外：水害リスクの高い地域への訓練実施の呼びかけや防災啓発の場で住民等へ周知を図る。	水害リスクの高い箇所に関して水防団や地域住民との情報共有について	H28年度から順次実施	水防関係機関や地域住民の参加する共同点検の推進	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-9	・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	水防活動への重機使用等、建設会社の支援に関する協定の締結について	H28年度から順次実施		【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-11	・水害BCP策定に向けた検討	水害BCP(事業継続計画)の作成について	H32年度		【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-12	・洪水や氾濫の特性も考慮した内容の氾濫を想定した対応マニュアルの作成	洪水時の庁舎等の機能確保のための対応マニュアルについて	H32年度		【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-13	・大規模工場等への浸水リスクと水害対策等の周知活動の実施	大規模工場等へ浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動の実施について	H32年度		【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-14	・自衛水防を説明会等により市民へ周知	自治会等の自衛水防に関する周知について	H29年度から順次実施		【取組内容】 【取組実施上の課題】	
(3)一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組み						
3-1 3-2 3-3	・河口に近い特性も考慮した氾濫水を迅速に排水するための、排水施設情報の共有・排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	利根川の決壊による浸水に対する、現状の配置計画の増大な住民避難や早期の社会機能回復の実策について	H32年度		【取組内容】 【取組実施上の課題】	
		利根川本川支川の樋門等閉鎖による内水被害の発生を懸念している			【取組内容】 【取組実施上の課題】	
		氾濫水をより迅速に排水するための排水計画の作成について			【取組内容】 【取組実施上の課題】	
3-4	・排水計画に基づく排水訓練の実施	排水計画に基づく排水訓練の実施について	H32年度		【取組内容】 【取組実施上の課題】	
■ハード対策の主な取組み						
(1)洪水を河川内で安全に流す対策、危機管理型ハード対策						
4-1	・優先的に実施する堤防整備	優先的に実施する堤防整備について	H32年度			
4-1	・優先的に実施する堤防天端の保護	優先的に実施する堤防天端の保護について	H32年度			
(2)避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備						
4-1	・簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	雨量・水位等の観測データ及び洪水等の状況を把握・伝達するための基盤の整備	H32年度			
1-17	・円滑かつ迅速な避難に資する施設(ハード)整備	住民等への情報伝達手段の整備について	H32年度			
2-10	・迅速な水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材の検討、配備や地域防災計画に基づく水防資機材等の配備、維持管理	利根川下流域の利根川本川の水防活動必要区間延長は長く、限られた水防団員による水防工法においては、簡易または劣化した水防工法が有効と考えます。新技術を活用した水防資機材や、水防資機材の配備について	引き続き実施	導入可能な新技術がどのようなものがあるか、検討する。	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-15	・氾濫形態に応じた排水施設の耐水化、庁舎の耐水対策の実施	排水施設の耐水化、庁舎等の重要施設の耐水対策について	H32年度			

〇令和5年で実施する取組

具体的な取組の柱		目標時期	実施する機関		
■ソフト対策の主な取り組み			取組内容	H29年度までの実施状況	H29年度の実施状況
(1)逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取り組み					
1-1	・沿川市町：想定最大規模降雨における洪水を対象に基準の見直しについて検討する。 ・沿川市町以外：洪水浸水想定区域に基づく避難の発令対象区域を設定、また、必要に応じて避難の発令基準を修正	避難に関する発令基準（対象区域・判断基準）の位置づけについて	平成28年度から順次実施	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
1-2	・沿川市町：ロールプレイ等による検討を行いながらタイムラインの見直しを行う。 ・沿川市町以外：避難勧告に着目したタイムラインの作成	避難勧告に着目したタイムラインの策定について	平成28年度から順次実施	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
1-3 1-4 1-5	・広域避難計画の検討、策定や避難経路に関する検討、防災訓練などの機会を通じ避難場所の住民への周知を図る。	水害時の避難場所の指定、住民への周知について	平成28年度から順次実施	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
		利根川の決壊により広範囲に浸水することが予想された場合、避難経路による住民の避難について、また、ハザードマップで避難所までの避難経路の指定状況について		【取組内容】 【取組実施上の課題】	
1-6	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、汎害シミュレーションの公表	想定最大規模降雨の場合の住民避難について	H29年度		
1-7	・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報絵の図象」等の改善（水害時の情報入手のし易さサポート）	雨の降り方が変化していることを踏まえた防災・減災対策の取り組みについて	平成29年度から順次実施		
1-8	・想定最大外力を反映した洪水HMの策定・周知	計画規模の外力を対象とした洪水ハザードマップの作成、住民への周知について 想定最大規模の外力を対象とした洪水浸水想定区域図が公表された後、洪水ハザードマップの作成・周知を5年以内に行う予定について	平成29年度から順次実施	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
1-9	・官兵も参加したロールプレイング等の実証的な避難訓練の実施	自治会等も参加した避難訓練の実施について	平成28年度から順次実施	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
1-10	・洪水情報のプッシュ型配信の実施	住民が自ら水害のリスクを察知し主体的に避難出来る取組について	平成29年度から順次実施		
1-11	・スマホ等IT機器の活用を検討、避難訓練等の実施	スマートフォン等のIT機器を活用した避難訓練等の実施について	平成28年度から順次実施	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
1-12	・水防災意識社会に関する資料等の作成による広報の推進	水防災意識社会の説明資料等の有無について	平成29年度から順次実施	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
1-13	・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	水災害に関する住民からの問い合わせへの対応について	平成28年度から順次実施	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
1-14	・水防災に関する説明会の開催	水防災について住民への周知に関する取組の実施について	平成28年度から順次実施	【取組内容】 利根川下流河川事務所実施の共同点検に参加している。 【取組実施上の課題】 構成市町で実施。当組合は該当なし。	利根川下流河川事務所実施の共同点検に参加している。
1-15	・小中学校における防災教育の促進	小中学校における水災害教育の実施について	平成28年度から順次実施	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
1-16	・教員を対象とした講習会の実施	水災害等の防災教育においては、学校教育が重要と考えています。学校の先生方への水災害等の理解促進の取組の実施について	H29年度から順次実施	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
1-18 1-19 1-20	・避難誘導体制の充実	避難誘導体制の地域防災計画等での位置づけについて	H29年度から順次実施	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
		避難時にバスなどの公共交通機関による大量輸送の計画について		【取組内容】 【取組実施上の課題】	
		洪水時における河川管理者からの情報提供等（ポットラインの構築）について			
		河川防災ステーションの整備について			
		住民避難が円滑に行われるための工夫について		【取組内容】 【取組実施上の課題】	
1-21	・日常から水災害意識の向上を図り、迅速な避難を実現するため、まるとまるとHMの検討、整備や表示板等の整備推進	避難所の表示看板やまるとまるとハザードマップ等、迅速な避難を実現するための取組について	H32年度	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
1-22	・要配慮者施設における避難計画の策定および訓練の実施促進、訓練の必要性の啓発	要配慮者施設における避難計画の策定及び訓練の実施について	H32年度	【取組内容】 【取組実施上の課題】	

具体的な
事項

■ハード対策の主な取り組み

具体的な取組の柱

令和5年度で実施する取組			実施する機関		
令和5年度で実施する取組			印旛利根川水防事務組合		
事項	目録時期	取組内容	H29年度までの実施状況		H29年度の実施状況
具体的な取組					
ソフト対策の主な取組み					
(1)逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組み					
1-1	・沿川市町：想定最大規模降雨における洪水を対象に基準の見直しについて検討する。 ・沿川市町以外：洪水浸水想定区域に基づき避難の発令対象区域を設定。また、必要に応じて避難の発令基準を修正	避難に関する発令基準（対象区域・判断基準）の位置づけについて	平成28年度から 順次実施		
1-2	・沿川市町：ロールプレイ等による検討を行いながらタイムラインの見直しを行う。 ・沿川市町以外：避難勧告に着目したタイムラインの作成	避難勧告に着目したタイムラインの策定について	平成28年度から 順次実施		
1-3 1-4 1-5	・広域避難計画の検討、策定や避難経路に関する検討、防災訓練などの機会を通じ避難場所の住民への周知を図る。	水害時の避難場所の指定、住民への周知について 利根川の決壊により広範囲に浸水すると予想された場合、避難経路による住民の避難について、また、ハザードマップで避難所までの避難経路の指定状況について 利根川と支川（小貝川・手賀川（沼）・印旛沼・荒瀬利根川（霧ヶ浦）等）同時の浸水を想定した避難場所、避難経路等の想定について	平成29年度から 順次実施		
1-6	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表	想定最大規模降雨の場合の住民避難について	H29年度		
1-7	・気象情報発報時の「危険度の色分け」や「情報誌の掲載」等の変更（水害時の情報入手のし易さサポート）	雨の降り方が変化していること等を踏まえた防災・減災対策の取組みについて	平成29年度から 順次実施		
1-8	・想定最大外力を反映した洪水HMの策定・周知	計画規模の外力を対象とした洪水ハザードマップの作成、住民への周知について 想定最大規模の外力を対象とした洪水浸水想定区域図が公表された後、洪水ハザードマップの作成・周知を5年以内に行う予定について	平成29年度から 順次実施		
1-9	・音兵も参加したロールプレイング等の実践的な避難訓練の実施	自治会等も参加した避難訓練の実施について	平成28年度から 順次実施		
1-10	・洪水情報のプッシュ型配信の実施	住民が自ら水害のリスクを察知し主体的に避難出来る取組について	平成29年度から 順次実施		
1-11	・スマホ等IT機器の活用を検討、避難訓練等の実施	スマートフォン等のIT機器を活用した避難訓練等の実施について	平成28年度から 順次実施		
1-12	・水防災意識社会に関する資料等の作成による広報の推進	水防災意識社会の説明資料等の有無について	平成29年度から 順次実施	水防災意識社会に関する資料等の作成による広報の推進。【概ね5年以内】	【取組内容】 【取組実施上の課題】
1-13	・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	水災害に関する住民からの問い合わせへの対応について	平成28年度から 順次実施		
1-14	・水防災に関する説明会の開催	水防災について住民への周知に関する取組の実施について	平成28年度から 順次実施	水防講習等の場で周知していく。【概ね5年以内】	【取組内容】 【取組実施上の課題】
1-15	・小中学校における防災教育の促進	小中学校における水災害教育の実施について	平成28年度から 順次実施		
1-16	・教員を対象とした講習会の実施	水災害等の防災教育においては、学校教育が重要と考えています。学校の先生方への水災害等の理解促進の取組の実施について	H29年度から 順次実施		
1-18 1-19 1-20	・避難誘導体制の充実	避難誘導体制の地域防災計画等での位置づけについて 避難時にバスなどの公共交通機関による大量輸送の計画について 洪水時における河川管理者からの情報提供等（ホットラインの構築）について 河川防災ステーションの整備について 住民避難が円滑に行われるための工夫について	H29年度から 順次実施		
1-21	・日常から水災害意識の向上を図り、迅速な避難を実現するため、まるごとまちごとHMの検討、整備や表示板等の整備推進	避難所の表示看板やまるごとまちごとハザードマップ等、迅速な避難を実現するための取組について	H32年度		
1-22	・要配慮者施設における避難計画の策定および訓練の実施促進、訓練の必要性の啓発	要配慮者施設における避難計画の策定及び訓練の実施について	H32年度		

概ね5年で実施する取組			目標時期	実施する機関		
具体的な取組の柱				取組内容	伊豫科根川水防事務組合 H29年度までの実施状況	H29年度の実施状況
(2)洪水災害による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組み						
2-1	・水防に関する広報の推進	水防に関する広報の実施について	引き続き実施	引き続き継続して実施。	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-2	・水防(防災)訓練の実施	水防訓練の実施について	引き続き実施	引き続き継続して実施。	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-3	・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	水防団への連絡系統の再確認や伝達訓練の実施について	引き続き実施	引き続き継続して実施。	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-4	・隣接市町合同による水防訓練の取組を推進	利根川が決壊した場合、広域的な浸水となりますが、水防訓練を隣接市町と合同で行うなどの取組の実施について	H29年度から順次実施	引き続き継続して実施。	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-5	・広域的な水防支援体制を推進	利根川下流域の破壊箇所によっては、一市町又は一水防事務組合の範囲を超えることが想定されますが、そのような場合の取組について	H32年度	広域的な事務組合相互の水防活動の支援体制を推進。【概ね5年以内】	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-6	・広域化、長期化する水防活動も視野に入れ、巡視区間・頻度・内容の明確化を図る	水防警報発令後の巡視区間・頻度・内容について	H28年度から順次実施	巡視区間・頻度・内容の明確化。【概ね5年以内】	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-7	・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定の促進	内水に対する水防活動以外に利根川の水防活動の実施について。また、水防協力団体の募集、指定についての広報の実施について	引き続き実施	水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定の促進。【概ね5年以内】	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-8	・沿川市町：毎年、水防団や地域住民が参加し洪水特性を考慮した水害リスクの高い箇所の共同点検の実施 ・沿川市町外：水害リスクの高い地域への訓練実施の呼びかけや防災啓発の場で住民等へ周知を図る。	水害リスクの高い箇所に関して水防団や地域住民との情報共有について	H28年度から順次実施	水防団や地域住民が参加し水害リスクの高い箇所の共同点検の推進。【概ね5年以内】	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-9	・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	水防活動への重機使用等、建設会社の支援に関する協定の締結について	H28年度から順次実施	各地域の建設業者による水防活動支援体制の充実。【概ね5年以内】	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-11	・水害BCP策定に向けた検討	水害BCP(事業継続計画)の作成について	H32年度	水害BCP策定に向けた検討。【概ね5年以内】	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-12	・洪水や氾濫の特性も考慮した内容の氾濫を想定した対応マニュアルの作成	洪水時の庁舎等の機能確保のための対応マニュアルについて	H32年度	各機関における大規模氾濫を想定した対応マニュアルの作成に向けた検討。【概ね5年以内】	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-13	・大規模工場等への浸水リスクと水害対策等の周知活動の実施	大規模工場等へ浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動の実施について	H32年度	大規模氾濫を想定した対策が必要と検討する。【概ね5年以内】	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-14	・自衛水防の説明会等により市民へ周知	自治会等の自衛水防に関する周知について	H29年度から順次実施	自衛水防に関する周知について検討していく。【概ね5年以内】	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
(3)一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組み						
3-1 3-2 3-3	・河口に近い特性も考慮した氾濫水を迅速に排水するための、排水施設情報の共有・排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	利根川本川支川の樋門等閉鎖による内水被害の発生を懸念について	H32年度	氾濫水を迅速に排水する為、関係機関と排水施設で情報の共有・排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成を検討。【概ね5年以内】	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
					【取組内容】 【取組実施上の課題】	
		氾濫水をより迅速に排水するための排水計画の作成について			【取組内容】 【取組実施上の課題】	
3-4	・排水計画に基づく排水訓練の実施	排水計画に基づく排水訓練の実施について	H32年度	排水計画の作成を検討。【概ね5年以内】	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
■ハード対策の主な取組み						
(1)洪水を河川内で安全に流す対策、危機管理型ハード対策						
4-1	・優先的に実施する堤防整備	優先的に実施する堤防整備について	H32年度			
4-1	・優先的に実施する堤防天端の保護	優先的に実施する堤防天端の保護について	H32年度			
(2)避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備						
4-1	・簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	雨量・水位等の観測データ及び洪水等の状況を把握・伝達するための基盤の整備	H32年度			
1-17	・円滑かつ迅速な避難に資する施設(ハード)整備	住民等への情報伝達手段の整備について	H32年度			
2-10	・迅速な水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材の検討、配備や地域防災計画に基づく水防資機材等の配備、維持管理	利根川下流域の利根川本川の水防活動必要区間延長は長く、限られた水防団員による水防工法においては、難所または劣化した水防工法が有用と考えます。新技術を活用した水防資機材や、水防資機材の配備について	引き続き実施	迅速な水防活動を支援する為の新技術を活用した水防資機材、地域防災計画に基づく水防資機材の整備を検討する。【概ね5年以内】	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-15	・氾濫形態に応じた排水施設の耐水化、庁舎等の耐水対策の実施	排水施設の耐水化、庁舎等の重要施設の耐水対策について	H32年度			

事項

令和9年度で実施する取組		実施する機関	
事業名	目標時期	平賀市長治水審議防組合	H29年度までの実施状況
具体的な取組		取組内容	
(1)逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組み			
1-1	・沿川市町：想定最大規模降雨における洪水を対象に基準の見直しについて検討する。 ・沿川市町以外：洪水浸水想定区域に基づき（避難の発令対象区画を設定。また、必要に応じて避難の発令基準を修正）	避難に関する発令基準（対象区域・判断基準）の位置づけについて	平成28年度から順次実施
1-2	・沿川市町：ロールプレイ等による検証を行いながらタイムラインの見直しを行う。 ・沿川市町以外：避難勧告に着目したタイムラインの作成	避難勧告に着目したタイムラインの策定について	平成28年度から順次実施
1-3 1-4 1-5	・広域避難計画の検討、策定や避難経路に関する検討、防災訓練などの機会を通じ避難場所の住民への周知を図る。	水管時の避難場所の指定、住民への周知について 利根川の決壊により広範囲に浸水すると予想された場合、避難経路による住民の避難について、また、ハザードマップで避難所までの道路の指定状況について 利根川と支川（小貝川・手賀川（沼）・印旛沼・荒瀬利根川（霧ヶ浦）等）同時の浸水を想定した避難場所、避難経路等の想定について	平成29年度から順次実施
1-6	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表	想定最大規模降雨の場合の住民避難について	H29年度
1-7	・気象情報受発信の「危険度の色分け」や「警報級の発表」等の改善（被害時の情報入手のし易さサポート）	雨の降り方が変化していること等を踏まえた防災・減災対策の取り組みについて	平成29年度から順次実施
1-8	・想定最大外力を反映した洪水HMの策定・周知	計画規模の外力を対象とした洪水ハザードマップの作成、住民への周知について 想定最大規模の外力を対象とした洪水浸水想定区域図が公表された後、洪水ハザードマップの作成・周知を5年以内に行う予定について	平成29年度から順次実施
1-9	・市民も参加したロールプレイング等の実践的な避難訓練の実施	自治会等も参加した避難訓練の実施について	平成28年度から順次実施
1-10	・洪水情報のプッシュ型配信の実施	住民が自ら水害のリスクを察知し主体的に避難出来る取組について	平成29年度から順次実施
1-11	・スマホ等IT機器の活用を検討、避難訓練等の実施	スマートフォン等のIT機器を活用した避難訓練等の実施について	平成28年度から順次実施
1-12	・水防災意識社会に関する資料等の作成による広報の推進	水防災意識社会の説明資料等の有無について	平成29年度から順次実施
1-13	・水災害の事前準備に関わる問い合わせ窓口の設置	水災害に関する住民からの問い合わせへの対応について	平成28年度から順次実施
1-14	・水防災に関する説明会の開催	水防災について住民への周知に関する取組の実施について	平成28年度から順次実施
1-15	・小中学校における防災教育の促進	小中学校における水災害教育の実施について	平成28年度から順次実施
1-16	・教員を対象とした講習会の実施	水災害等の防災教育においては、学校教育が重要と考えています。学校の先生方への水災害等の理解促進の取組の実施について	H29年度から順次実施
1-18 1-19 1-20	・避難誘導体制の充実	避難誘導体制の地域防災計画等での位置づけについて 避難時にバスなどの公共交通機関による大量輸送の計画について 洪水時における河川管理者からの情報提供等（ホットラインの構築）について 河川防災ステーションの整備について 住民避難が円滑に行われるための工夫について	H29年度から順次実施
1-21	・日常から水災害意識の向上を図り、迅速な避難を実現するため、まるごとまちごとHMの検討、整備や表示板等の整備推進	避難所の表示看板やまるごとまちごとハザードマップ等、迅速な避難を実施するための取組について	H32年度
1-22	・要配慮者施設における避難計画の策定および訓練の実施促進、訓練の必要性の啓発	要配慮者施設における避難計画の策定及び訓練の実施について	H32年度

具体

■ハード対策の主な取り組み

(1) 洪水を河川内で安全に:

4-1	・優先的に実施する堤防整備	優先的に実施する堤防整備について	H32年度			
4-1	・優先的に実施する堤防天端の保護	優先的に実施する堤防天端の保護について	H32年度			
(2)避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備						
4-1	・簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	雨量・水位等の観測データ及び洪水等の状況を把握・伝達するための基盤の整備	H32年度			
1-17	・円滑かつ迅速な避難に資する施設(ハード)整備	住民等への情報伝達手段の整備について	H32年度			
2-10	・迅速な水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材の検査、配備や備蓄施設計画に基づく水防資機材等の配備、維持管理	利根川下流域の利根川本川の水防活動必要区間延長は長く、限られた水防職員による水防工法においては、熟練または専任化された水防工法が有効と考えます。新技術を活用した水防資機材、水防資機材の配備について	引き続き実施		【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-15	・氾濫形態に応じた排水施設の耐水化、庁舎の耐水対策の実施	排水施設の耐水化、庁舎等の重要施設の耐水対策について	H32年度			

具体的な取組の柱

具体的
事

■ハード対策の主な取り組み

■ハード対策の主な取り組み

1) 洪水を河川内で安全に Fluss 対策、危機管理型ハード対策					
4-1	・優先的に実施する堤防整備	優先的に実施する堤防整備について	H32年度		
4-1	・優先的に実施する堤防天端の保護	優先的に実施する堤防天端の保護について	H32年度		
2) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備					
4-1	・簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	雨量・水位等の観測データ及び洪水等の状況を把握・伝達するための基盤の整備	H32年度		
1-17	・円滑かつ迅速な避難に資する施設（ハード）整備	住民等への情報伝達手段の整備について	H32年度	市町村の情報伝達手段の整備に関し、緊急防災・減災事業費の活用を促進している。	市町村の情報伝達手段の整備に関し、緊急防災・減災事業費の活用を促進している。
2-10	・迅速な水防活動を支援するための手段として活用した水防資機材の検点、配備や地域防災計画に基づいた水防資機材等の配備、維持管理	利根川下流域の利根川本川の水防活動必要区間延長が長く、置かれた水防設備による水防工法においては、簡易または省力化された水防工法が活用とを要する。新技術を活用した水防資機材や、水防資機材の配備について	引き続き実施	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-15	・氾濫形態に応じた排水施設の耐水化、庁舎の耐水対策の実施	排水施設の耐水化、庁舎等の重要施設の耐水対策について	H32年度	【取組内容】 【取組実施上の課題】	

○概ね5年で実施する
具体的な取組の柱

[illegible]

〇令和5年度で実施する取組

具体的な取組の柱			目標時期	実施する機関 茨城県河川課		
具体的取組				取組内容	H29年度までの実施状況	H29年度の実施状況
(2) 洪水災害による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取り組み						
2-1	・水防に関する広報の推進	水防に関する広報の実施について	引き続き実施	継続実施している。	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-2	・水防(防災)訓練の実施	水防訓練の実施について	引き続き実施	継続実施している。	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-3	・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	水防団への連絡系統の再確認や伝達訓練の実施について	引き続き実施	継続実施している。	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-4	・隣接市町合同による水防訓練の取組を推進	利根川が決壊した場合、広域的な浸水となりますが、水防訓練を隣接市町と合同で行うなどの取組の実施について	H29年度から順次実施	各市町において、合同で訓練を実施している。	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-5	・広域的な水防支援体制を推進	利根川下流域の破壊箇所によっては、一市町又は一水防事務組合の範囲を超えることが想定されますが、そのような場合の取組について	H32年度	相互協力による水防活動の実施。	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-6	・広域化、長期化する水防活動も視野に入れ、監視区間・頻度・内容の明確化を図る	水防警報発令後の監視区間・頻度・内容について	H28年度から順次実施	水防計画により、重要水防箇所などを事前に確認している。	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-7	・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定の促進	内水に対する水防活動以外に利根川の水防活動の実施について、また、水防協力団体の募集、指定についての広報の実施について	引き続き実施	実施方法について検討していく。	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-8	・沿川市町：毎年、水防団や地域住民が参加し洪水特性を考慮した水害リスクの高い箇所の共同点検の実施 ・沿川市町外：水害リスクの高い地域への訓練実施の呼びかけや防災啓発の場で住民等へ周知を図る。	水害リスクの高い箇所に関して水防団や地域住民との情報共有について	H28年度から順次実施	実施方法について検討していく。	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-9	・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	水防活動への重機使用等、建設会社の支援に関する協定の締結について	H28年度から順次実施	継続して実施。	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-11	・水害BCP策定に向けた検討	水害BCP(事業継続計画)の作成について	H32年度		【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-12	・洪水や氾濫の特性も考慮した内容の氾濫を想定した対応マニュアルの作成	洪水時の庁舎等の機能確保のための対応マニュアルについて	H32年度		【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-13	・大規模工場等への浸水リスクと水害対策等の周知活動の実施	大規模工場等へ浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動の実施について	H32年度		【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-14	・自衛水防を説明会等により市民へ周知	自治会等の自衛水防に関する周知について	H29年度から順次実施		【取組内容】 【取組実施上の課題】	
(3) 一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取り組み						
3-1 3-2 3-3	・河口に近い特性も考慮した氾濫水を迅速に排水するための、排水施設情報の共有・排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	利根川の決壊による浸水に対する、現状の配置計画の確実な住民避難や早期の社会機能回復の実効について 利根川本川支川の樋門等閉鎖による内水被害の発生を懸念について	H32年度	未実施。	【取組内容】 【取組実施上の課題】 【取組内容】 【取組実施上の課題】	
3-4	・排水計画に基づく排水訓練の実施	排水計画に基づく排水訓練の実施について	H32年度	水防訓練と同様に積極的に参加する。	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
■ハード対策の主な取り組み						
(1) 洪水を河川内で安全に流す対策、危機管理型ハード対策						
4-1	・優先的に実施する堤防整備	優先的に実施する堤防整備について	H32年度			
4-1	・優先的に実施する堤防天端の保護	優先的に実施する堤防天端の保護について	H32年度			
(2) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備						
4-1	・簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	雨量・水位等の観測データ及び洪水等の状況を把握・伝達するための基盤の整備	H32年度			
1-17	・円滑かつ迅速な避難に資する施設(ハード)整備	住民等への情報伝達手段の整備について	H32年度	雨量・水位の情報について、インターネット等により配信している。	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-10	・迅速な水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材の検討、配備や地域防災計画に基づく水防資機材等の配備、維持管理	利根川下流域の利根川本川の水防活動必要区間延長は長く、限られた水防団員による水防工法においては、難所または劣化した水防工法が有効と考えます。新技術を活用した水防資機材や、水防資機材の配備について	引き続き実施	水のう等の購入を今後検討する。	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-15	・氾濫形態に応じた排水施設の耐水化、庁舎の耐水対策の実施	排水施設の耐水化、庁舎等の重要施設の耐水対策について	H32年度		【取組内容】 【取組実施上の課題】	

〇概ね5年で実施する取組

具体的な取組の状況		実施する期間 年度		実施内容		H29年度までの実施状況		H29年度の実施状況	
ソフト対策の主な取り組み		目標時期		取組内容		H29年度までの実施状況		H29年度の実施状況	
1)逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取り組み									
1-1	・沿川市町：想定最大規模降雨における洪水を対象に基準の見直しについて検討する。 ・沿川市町以外：洪水浸水想定区域に基づく避難の発令対象区域を設定、また、必要に応じて避難の発令基準を修正	避難に関する発令基準（対象区域・判断基準）の位置づけについて	平成28年度から順次実施	避難勧告等の発令基準の見直しを支援。	【取組内容】 市町村防災課長や担当者にに対し説明会や防災体制向上のためのヒアリングなどを実施し避難体制の向上（改善）を依頼 【取組実施上の課題】 防災素研に関しては、市町村職員の人不足のうえ、やることばかり増え、改善進捗に難儀している	市町村防災課長や担当者にに対し説明会や防災体制向上のためのヒアリングなどを実施し避難体制の向上（改善）を依頼			
1-2	・沿川市町：ロールプレイ等による検討を行いながらタイムラインの見直しを行う。 ・沿川市町以外：避難勧告に着目したタイムラインの作成	避難勧告に着目したタイムラインの策定について	平成28年度から順次実施	避難勧告に着目したタイムラインの作成を支援。	【取組内容】 市町村から相談があった場合、対応 【取組実施上の課題】 防災素研に関しては、市町村職員の人不足のうえ、やることばかり増え、改善進捗に難儀している	市町村から相談があった場合、対応			
1-3 1-4 1-5	・広域避難計画の検討、策定や避難経路に関する検討、防災訓練などの機会を通じ避難場所の住民への周知を図る。	利根川の決壊により広範囲に浸水することが予想された場合、避難経路による住民の避難について、また、ハザードマップで避難経路までの避難経路の指定状況について	平成28年度から順次実施	広域避難計画の策定を支援。	【取組内容】 市町村防災課長や担当者にに対し説明会や防災体制向上のためのヒアリングなどを実施し避難体制の向上（改善）を依頼 【取組実施上の課題】 防災素研に関しては、市町村職員の人不足のうえ、やることばかり増え、改善進捗に難儀している	市町村防災課長や担当者にに対し説明会や防災体制向上のためのヒアリングなどを実施し避難体制の向上（改善）を依頼			
1-6	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表	想定最大規模降雨の場合の住民避難について	H29年度						
1-7	・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「避難経路の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さサポート）	雨の降り方が変化していること等を踏まえた防災・減災対策の取り組みについて	平成29年度から順次実施						
1-8	・想定最大外力を反映した洪水HMの策定・周知	計画規模の外力を対象とした洪水ハザードマップの作成、住民への周知について 想定最大規模の外力を対象とした洪水浸水想定区域図が公表された後、洪水ハザードマップの作成・周知を5年以内に行う予定について	平成29年度から順次実施	市町村が作成する洪水HMの策定支援。	【取組内容】 利根川に流入する小野川の最大想定浸水想定区域図を作成。 【取組実施上の課題】	利根川に流入する小野川の最大想定浸水想定区域図を作成。			
1-9	・官兵も参加したロールプレイング等の実証的な避難訓練の実施	自治会等も参加した避難訓練の実施について	平成28年度から順次実施	訓練実施を支援。	【取組内容】 特になし 【取組実施上の課題】	特になし			
1-10	・洪水情報のプッシュ型配信の実施	住民が自ら水害のリスクを察知し主体的に避難出来る取組について	平成29年度から順次実施						
1-11	・スマホ等IT機器の活用を検討、避難訓練等の実施	スマートフォン等のIT機器を活用した避難訓練等の実施について	平成28年度から順次実施	—	【取組内容】 【取組実施上の課題】				
1-12	・水防災意識社会に関する資料等の作成による広報の推進	水防災意識社会の説明資料等の有無について	平成29年度から順次実施	継続して実施。	【取組内容】 国の作成資料を用いて協議会での説明等を行っている。 【取組実施上の課題】	国の作成資料を用いて協議会での説明等を行っている。			
1-13	・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	水災害に関する住民からの問い合わせへの対応について	平成28年度から順次実施	継続して実施。	【取組内容】 個別に対して個別に回答 【取組実施上の課題】	質問に対して個別に回答			
1-14	・水防災に関する説明会の開催	水防災について住民への周知に関する取組の実施について	平成28年度から順次実施	継続して実施。	【取組内容】 要請に応じて出前講座等を実施することとしている。 【取組実施上の課題】	要請に応じて出前講座等を実施することとしている。			
1-15	・小中学校における防災教育の促進	小中学校における水災害教育の実施について	平成28年度から順次実施	市町村の要望により実施。	【取組内容】 出前講座の依頼があれば実施することとしている。 【取組実施上の課題】	出前講座の依頼があれば実施することとしている。			
1-16	・教員を対象とした講習会の実施	水災害等の防災教育においては、学校教育が重要と考えています。学校の先生方への水災害等の理解促進の取組の実施について	H29年度から順次実施	継続して実施。	【取組内容】 研修会において、気象庁から講師を招き、水災害を含む様々な災害のメカニズムや対処法の講話を行い理解促進に努めている。 【取組実施上の課題】	研修会において、気象庁から講師を招き、水災害を含む様々な災害のメカニズムや対処法の講話を行い理解促進に努めている。			
1-18 1-19 1-20	・避難誘導体制の充実	避難時にバスなどの公共交通機関による大量輸送の計画について 洪水時における河川管理者からの情報提供等（ホットラインの構築）について 河川防災ステーションの整備について 住民避難が円滑に行われるための工夫について	H29年度から順次実施	避難計画の策定を支援。	【取組内容】 市町村防災課長や担当者にに対し説明会や防災体制向上のためのヒアリングなどを実施し避難体制の向上（改善）を依頼 【取組実施上の課題】 防災素研に関しては、市町村職員の人不足のうえ、やることばかり増え、改善進捗に難儀している 【取組内容】 市町村防災課長や担当者にに対し説明会や防災体制向上のためのヒアリングなどを実施し避難体制の向上（改善）を依頼 【取組実施上の課題】 防災素研に関しては、市町村職員の人不足のうえ、やることばかり増え、改善進捗に難儀している	市町村防災課長や担当者にに対し説明会や防災体制向上のためのヒアリングなどを実施し避難体制の向上（改善）を依頼			
1-21	・日常から水災害意識の向上を図り、迅速な避難を実現するため、まちごとまちごとHMの検討、整備や表示板等の整備推進	避難所の表示看板やまちごとまちごとハザードマップ等、迅速な避難を実現するための取組について	H32年度	継続して実施。	【取組内容】 市町村防災課長や担当者にに対し説明会や防災体制向上のためのヒアリングなどを実施し避難体制の向上（改善）を依頼 【取組実施上の課題】 防災素研に関しては、市町村職員の人不足のうえ、やることばかり増え、改善進捗に難儀している	市町村防災課長や担当者にに対し説明会や防災体制向上のためのヒアリングなどを実施し避難体制の向上（改善）を依頼			
1-22	・要配慮者施設における避難計画の策定および訓練の実施促進、訓練の必要性の普及	要配慮者施設における避難計画の策定及び訓練の実施について	H32年度	市町村への啓発を実施。	【取組内容】 市町村防災課長や担当者にに対し説明会や防災体制向上のためのヒアリングなどを実施し避難体制の向上（改善）を依頼 【取組実施上の課題】 防災素研に関しては、市町村職員の人不足のうえ、やることばかり増え、改善進捗に難儀している	市町村防災課長や担当者にに対し説明会や防災体制向上のためのヒアリングなどを実施し避難体制の向上（改善）を依頼			

具体的

■ハード対策の主な取り組み

(1) 洪水を河川内で安全に

4-1	・優先的に実施する堤防整備	優先的に実施する堤防整備について	H32年度			
4-1	・優先的に実施する堤防天端の保護	優先的に実施する堤防天端の保護について	H32年度			
(2)避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備						
4-1	・簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	雨量・水位等の観測データ及び洪水等の状況を把握・伝達するための基盤の整備	H32年度		【取組内容】 【取組実施上の課題】	
1-17	・円滑かつ迅速な避難に資する施設（ハード）整備	住民等への情報伝達手段の整備について	H32年度	—		
2-10	・迅速な水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材の検討、配備や堤防防災計画に基づく水防資機材等の配備、維持管理	利根川下流域の利根川本川の水防活動必要区間延長は長く、限られた水防団員による水防工法においては、施設等による劣化された水防工法が有効と考えます。新技術を活用した水防資機材や、水防資機材の配備について	引き続き実施	継続して実施。	【取組内容】 水防資機材等に土嚢袋やロープ、シート等の水防資機材を備蓄している。 【取組実施上の課題】	水防倉庫等に土嚢袋やロープ、シート等の水防資機材を備蓄している。
2-15	・氾濫形態に応じた排水施設の耐水化、庁舎の耐水対策の実施	排水施設の耐水化、庁舎等の重要施設の耐水対策について	H32年度	庁舎改修時に耐水対策の必要性を検討。	【取組内容】 ※取組内容の対照を実施 【取組実施上の課題】	※取組内容の対照を実施

〇令和5年で実施する取組

具体的な取組の柱		目標時期	実施する機関		
年次別取組			利根川下流域各管理所		H29年度の実施状況
■ソフト対策の主な取組			取組内容	H29年度までの実施状況	
(1)逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組み					
1-1	・沿川市町：想定最大規模降雨における洪水を対象に基準の見直しについて検討する。 ・沿川市町以外：洪水浸水想定区域に基づく避難の発令対象区域を設定、また、必要に応じて避難の発令基準を修正	避難に関する発令基準（対象区域・判断基準）の位置づけについて	平成28年度から順次実施		
1-2	・沿川市町：ロールプレイ等による検討を行いながらタイムラインの見直しを行う。 ・沿川市町以外：避難勧告に着目したタイムラインの作成	避難勧告に着目したタイムラインの策定について	平成28年度から順次実施		
1-3 1-4 1-5	・広域避難計画の検討、策定や避難経路に関する検討、防災訓練などの機会を通じ避難場所の住民への周知を図る。	利根川の決壊により広範囲に浸水することが予想された場合、避難経路による住民の避難について、また、ハザードマップで避難所までの避難経路の指定状況について	平成28年度から順次実施		
1-6	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表	利根川と支川（小貝川・手賀川（沼）・印旛沼・常陸利根川（霞ヶ浦）等）間の浸水想定した避難場所、避難経路等の想定について	H29年度		
1-7	・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さサポート）	雨の降り方が変化していることを踏まえた防災・減災対策の取組みについて	平成29年度から順次実施		
1-8	・想定最大外力を反映した洪水HMの策定・周知	計画規模の外力を対象とした洪水ハザードマップの作成、住民への周知について 想定最大規模の外力を対象とした洪水浸水想定区域図が公表された後、洪水ハザードマップの作成・周知を5年以内に行う予定について	平成29年度から順次実施		
1-9	・官兵も参加したロールプレイング等の実証的な避難訓練の実施	自治会等も参加した避難訓練の実施について	平成28年度から順次実施	該当なし。	【取組内容】 【取組実施上の課題】
1-10	・洪水情報のプッシュ型配信の実施	住民が自ら水害のリスクを察知し主体的に避難出来る取組について	平成29年度から順次実施		
1-11	・スマホ等IT機器の活用を検討、避難訓練等の実施	スマートフォン等のIT機器を活用した避難訓練等の実施について	平成28年度から順次実施	該当なし。	【取組内容】 【取組実施上の課題】
1-12	・水防災意識社会に関する資料等の作成による広報の推進	水防災意識社会の説明資料等の有無について	平成29年度から順次実施		
1-13	・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	水災害に関する住民からの問い合わせへの対応について	平成28年度から順次実施		
1-14	・水防災に関する説明会の開催	水防災について住民への周知に関する取組の実施について	平成28年度から順次実施	防災業務に係る自治体等との更なる連携強化を図ることを目的として「地域防災連携窓口」をH28.8.11に設置。今後、自治体との更なる連携について検討していく。	【取組内容】 【取組実施上の課題】
1-15	・小中学校における防災教育の促進	小中学校における水災害教育の実施について	平成28年度から順次実施		
1-16	・教員を対象とした講習会の実施	水災害等の防災教育においては、学校教育が重要と考えています。学校の先生方への水災害等の理解促進の取組の実施について	H29年度から順次実施		
1-18 1-19 1-20	・避難誘導体制の充実	避難誘導体制の地域防災計画等での位置づけについて 避難時にバスなどの公共交通機関による大量輸送の計画について 洪水時における河川管理者からの情報提供等（ポットラインの構築）について 河川防災ステーションの整備について 住民避難が円滑に行われるための工夫について	H29年度から順次実施		
1-21	・日常から水災害意識の向上を図り、迅速な避難を実現するため、まるとまちごとHMの検討、整備や表示板等の整備推進	避難所の表示看板やまるとまちごとハザードマップ等、迅速な避難を実現するための取組について	H32年度		
1-22	・要配慮者施設における避難計画の策定および訓練の実施促進、訓練の必要性の啓発	要配慮者施設における避難計画の策定及び訓練の実施について	H32年度		

令和5年で実施する取組			目標時期	実施する機関		
具体的取組の柱				利根川下流総合管理所		
2)洪水災害による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組み				取組内容	H29年度までの実施状況	H29年度の実施状況
2-1	・水防に関する広報の推進	水防に関する広報の実施について	引き続き実施			
2-2	・水防(防災)訓練の実施	水防訓練の実施について	引き続き実施			
2-3	・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	水防団への連絡系統の再確認や伝達訓練の実施について	引き続き実施			
2-4	・隣接市町合同による水防訓練の取組を推進	利根川が決壊した場合、広域的な浸水となりますが、水防訓練を隣接市町と合同で行うなどの取組の実施について	H29年度から順次実施			
2-5	・広域的な水防支援体制を推進	利根川下流域の破壊箇所によっては、一市町又は一水防事務組合の範囲を超えることが想定されますが、そのような場合の取組について	H32年度			
2-6	・広域化、長期化する水防活動も視野に入れ、監視区間・頻度・内容の明確化を図る	水防警報発令後の監視区間・頻度・内容について	H28年度から順次実施			
2-7	・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定の促進	内水に対する水防活動以外に利根川の水防活動の実施について。また、水防協力団体の募集、指定についての広報の実施について	引き続き実施			
2-8	・沿川市町：毎年、水防団や地域住民が参加し洪水特性を考慮した水害リスクの高い箇所の共同点検の実施 ・沿川市町外：水害リスクの高い地域への訓練実施の呼びかけや防災啓発の場で住民等へ周知を図る。	水害リスクの高い箇所に関して水防団や地域住民との情報共有について	H28年度から順次実施			
2-9	・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	水防活動への重機使用等、建設会社の支援に関する協定の締結について	H28年度から順次実施			
2-11	・水害BCP策定に向けた検討	水害BCP(事業継続計画)の作成について	H32年度	水害BCP策定に向けた検討。【平成33年3月まで】	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-12	・洪水や氾濫の特性も考慮した内容の氾濫を想定した対応マニュアルの作成	洪水時の庁舎等の機能確保のための対応マニュアルについて	H32年度	大規模氾濫を想定した対応マニュアルの作成。【平成33年3月まで】	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-13	・大規模工場等への浸水リスクと水害対策等の周知活動の実施	大規模工場等へ浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動の実施について	H32年度			
2-14	・自衛水防を説明会等により市民へ周知	自治会等の自衛水防に関する周知について	H29年度から順次実施			
3)一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組み						
3-1 3-2 3-3	・河口に近い特性も考慮した氾濫水を迅速に排水するための、排水施設情報の共有・排水手法等の検討を行う ・大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	利根川の決壊による浸水に対する、現状の配置計画の増大な住民避難や早期の社会機能回復の実効について 利根川本川支川の樋門等閉扉による内水被害の発生を懸念している 氾濫水をより迅速に排水するための排水計画の作成について	H32年度			
3-4	・排水計画に基づく排水訓練の実施	排水計画に基づく排水訓練の実施について	H32年度			
■ハード対策の主な取組み						
(1)洪水を河川内で安全に流す対策、危機管理型ハード対策						
4-1	・優先的に実施する堤防整備	優先的に実施する堤防整備について	H32年度			
4-1	・優先的に実施する堤防天端の保護	優先的に実施する堤防天端の保護について	H32年度			
(2)避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備						
4-1	・簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	雨量・水位等の観測データ及び洪水等の状況を把握・伝達するための基盤の整備	H32年度			
1-17	・円滑かつ迅速な避難に資する施設(ハード)整備	住民等への情報伝達手段の整備について	H32年度			
2-10	・迅速な水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材の検討、配備や地域防災計画に基づく水防資機材等の配備、維持管理	利根川下流域の利根川本川の水防活動必要区間延長は長く、限られた水防団員による水防工法においては、難航または劣化された水防工法が有用と考えます。新技術を活用した水防資機材や、水防資機材の配備について	引き続き実施			
2-15	・氾濫形態に応じた排水施設の耐水化、庁舎の耐水対策の実施	排水施設の耐水化、庁舎等の重要施設の耐水対策について	H32年度	施設毎の耐水対策の必要性の検討。【平成33年3月まで】	【取組内容】 【取組実施上の課題】	

事項	事項
----	----

〇令和5年度で実施する取組

具体的な取組の仕			目標時期	実施する機関		
年次計画				千歳用水総合管理所		
具体的取組				取組内容	H29年度までの実施状況	H29年度の実施状況
(2)洪水災害による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取り組み						
2-1	・水防に関する広報の推進	水防に関する広報の実施について	引き続き実施			
2-2	・水防(防災)訓練の実施	水防訓練の実施について	引き続き実施			
2-3	・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	水防団への連絡系統の再確認や伝達訓練の実施について	引き続き実施			
2-4	・隣接市町合同による水防訓練の取組を推進	利根川が決壊した場合、広域的な浸水となりますが、水防訓練を隣接市町と合同で行うなどの取組の実施について	H29年度から順次実施			
2-5	・広域的な水防支援体制を推進	利根川下流域の破壊箇所によっては、一市町又は一水防事務組合の範囲を超えることが想定されますが、そのような場合の取組について	H32年度			
2-6	・広域化、長期化する水防活動も視野に入れ、監視区間・頻度・内容の明確化を図る	水防警報発令後の監視区間・頻度・内容について	H28年度から順次実施			
2-7	・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定の促進	内水に対する水防活動以外に利根川の水防活動の実施について。また、水防協力団体の募集、指定についての広報の実施について	引き続き実施			
2-8	・沿川市町：毎年、水防団や地域住民が参加し洪水特性を考慮した水害リスクの高い箇所の共同点検の実施 ・沿川市町外：水害リスクの高い地域への訓練実施の呼びかけや防災啓発の場で住民等へ周知を図る。	水害リスクの高い箇所に関して水防団や地域住民との情報共有について	H28年度から順次実施			
2-9	・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	水防活動への重機使用等、建設会社の支援に関する協定の締結について	H28年度から順次実施			
2-11	・水害BCP策定に向けた検討	水害BCP(事業継続計画)の作成について	H32年度	作成の必要性について検討する。	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-12	・洪水や氾濫の特性も考慮した内容の氾濫を想定した対応マニュアルの作成	洪水時の庁舎等の機能確保のための対応マニュアルについて	H32年度	作成の必要性について検討する。	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-13	・大規模工場等への浸水リスクと水害対策等の周知活動の実施	大規模工場等へ浸水リスクの説明と水害対策等の啓蒙活動の実施について	H32年度			
2-14	・自衛水防を説明会等により市民へ周知	自治会等の自衛水防に関する周知について	H29年度から順次実施			
(3)一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取り組み						
3-1 3-2 3-3	・河口に近い特性も考慮した氾濫水を迅速に排水するための、排水施設情報の共有・排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	利根川が決壊による浸水に対する、現状の配置計画の増大な住民避難や早期の社会機能回復の実効について 利根川本川支川の樋門等閉扉による内水被害の発生を懸念について 氾濫水をより迅速に排水するための排水計画の作成について	H32年度			
3-4	・排水計画に基づく排水訓練の実施	排水計画に基づく排水訓練の実施について	H32年度			
■ハード対策の主な取組み						
(1)洪水を河川内で安全に流す対策、危機管理型ハード対策						
4-1	・優先的に実施する堤防整備	優先的に実施する堤防整備について	H32年度			
4-1	・優先的に実施する堤防天端の保護	優先的に実施する堤防天端の保護について	H32年度			
(2)避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備						
4-1	・簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	雨量・水位等の観測データ及び洪水等の状況を把握・伝達するための基盤の整備	H32年度			
1-17	・円滑かつ迅速な避難に資する施設(ハード)整備	住民等への情報伝達手段の整備について	H32年度			
2-10	・迅速な水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材の検討、配備や地域防災計画に基づく水防資機材等の配備、維持管理	利根川下流域の利根川本川の水防活動必要区間延長は長く、限られた水防団員による水防工法においては、難所または劣化された水防工法が有用と考えます。新技術を活用した水防資機材や、水防資機材の配備について	引き続き実施			
2-15	・氾濫形態に応じた排水施設の耐水化、庁舎の耐水対策の実施	排水施設の耐水化、庁舎等の重要施設の耐水対策について	H32年度	対策の必要性について検討する。	【取組内容】 【取組実施上の課題】	

〇令和5年で実施する取組

具体的な取組の仕 方・手段		目標時期	実施する機関 沼々浦川水管理所			
具体的取組			取組内容	H29年度までの実施状況	H29年度の実施状況	
■ソフト対策の主な取組み						
(1)逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組み						
1-1	・沿川市町：想定最大規模降雨にお ける洪水を対象に基準の見直しにつ いて検討する。 ・沿川市町以外：洪水浸水想定区域 に基づく避難の発令対象区域を設 定。また、必要に応じて避難の発令 基準を修正	避難に関する発令基準（対象区域・ 判断基準）の位置づけについて	平成28年度から 順次実施			
1-2	・沿川市町：ロールプレイ等による検 討を行いながらタイムラインの見直 しを行う。 ・沿川市町以外：避難勧告に着目し たタイムラインの作成	避難勧告に着目したタイムラインの 策定について	平成28年度から 順次実施			
1-3 1-4 1-5	・広域避難計画の検討、策定や避難 経路に関する検討、防災訓練などの 機会を通じ避難場所の住民への周 知を図る。	水害時の避難場所の指定、住民へ の周知について	平成28年度から 順次実施			
		利根川の決壊により広範囲に浸水す ることが予想された場合、避難経路 による住民の避難について、また、 ハザードマップで避難所までの避難 経路の指定状況について				
		利根川と支川（小貝川・手賀川（沼）・ 印旛沼・常陸利根川（霞ヶ浦）等）同 時の浸水を想定した避難場所、避難 経路等の想定について				
1-6	・想定最大規模降雨による洪水浸水 想定区域図、氾濫シミュレーションの 公表	想定最大規模降雨の場合の住民避 難について	H29年度			
1-7	・気象情報発信時の「危険度の色分 け」や「警報絵の現象」等の改善（水 害時の情報入手のし易さサポート）	雨の降り方が変化していること等を 踏まえた防災・減災対策の取組み について	平成29年度から 順次実施			
1-8	・想定最大外力を反映した洪水HM の策定・周知	計画規模の外力を対象とした洪水ハ ザードマップの作成、住民への周知 について 想定最大規模の外力を対象とした洪 水浸水想定区域図が公表された後、 洪水ハザードマップの作成・周知を5 年以内に行う予定について	平成29年度から 順次実施			
1-9	・官兵も参加したロールプレイング等 の実証的な避難訓練の実施	自治会等も参加した避難訓練の実 施について	平成28年度から 順次実施	該当なし。	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
1-10	・洪水情報のプッシュ型配信の実施	住民が自ら水害のリスクを察知し主 体的に避難出来る取組について	平成29年度から 順次実施			
1-11	・スマホ等IT機器の活用を検討、避 難訓練等の実施	スマートフォン等のIT機器を活用した 避難訓練等の実施について	平成28年度から 順次実施	該当なし。	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
1-12	・水防災意識社会に関する資料等の 作成による広報の推進	水防災意識社会の説明資料等の有 無について	平成29年度から 順次実施			
1-13	・水災害の事前準備に関する問い合わせ 窓口の設置	水災害に関する住民からの問い合 わせへの対応について	平成28年度から 順次実施			
1-14	・水防災に関する説明会の開催	水防災について住民への周知に関 する取組の実施について	平成28年度から 順次実施	該当なし。	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
1-15	・小・中学校における防災教育の促進	小・中学校における水災害教育の実 施について	平成28年度から 順次実施			
1-16	・教員を対象とした講習会の実施	水災害等の防災教育においては、学 校教育が重要と考えています。学校 の先生方への水災害等の理解促進 の取組の実施について	H29年度から 順次実施			
1-18 1-19 1-20	・避難誘導体制の充実	避難誘導体制の地域防災計画等で の位置づけについて	H29年度から 順次実施			
		避難時にバスなどの公共交通機関 による大量輸送の計画について				
		洪水時における河川管理者からの 情報提供等（ホットラインの構築）に ついて				
		河川防災ステーションの整備につい て				
		住民避難が円滑に行われるための 工夫について				
1-21	・日常から水災害意識の向上を図 り、迅速な避難を実現するため、まる ごとまちごとHMの検討、整備や表示 板等の整備推進	避難所の表示看板やまるごとまちご とハザードマップ等、迅速な避難を 実現するための取組について	H32年度			
1-22	・要配慮者施設における避難計画の 策定および訓練の実施促進、訓練の 必要性の啓発	要配慮者施設における避難計画の 策定及び訓練の実施について	H32年度			

令和5年度で実施する取組			目標時期	実施する機関		
関係する取組の柱				関ヶ浦用水管理所		
具体的な取組			取組内容	H29年度までの実施状況		H29年度の実施状況
(2)洪水災害による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組み						
2-1	・水防に関する広報の推進	水防に関する広報の実施について	引き続き実施			
2-2	・水防(防災)訓練の実施	水防訓練の実施について	引き続き実施			
2-3	・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	水防団への連絡系統の再確認や伝達訓練の実施について	引き続き実施			
2-4	・隣接市町合同による水防訓練の取組を推進	利根川が決壊した場合、広域的な浸水となりますが、水防訓練を隣接市町と合同で行うなどの取組の実施について	H29年度から順次実施			
2-5	・広域的な水防支援体制を推進	利根川下流域の破壊箇所によっては、一市町又は一水防事務組合の範囲を超えることが想定されますが、そのような場合の取組について	H32年度			
2-6	・広域化、長期化する水防活動も視野に入れ、監視区間・頻度・内容の明確化を図る	水防警報発令後の監視区間・頻度・内容について	H28年度から順次実施			
2-7	・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定の促進	内水に対する水防活動以外に利根川の水防活動の実施について。また、水防協力団体の募集、指定についての広報の実施について	引き続き実施			
2-8	・沿川市町：毎年、水防団や地域住民が参加し、洪水特性を考慮した水害リスクの高い箇所の共同点検の実施 ・沿川市町外：水害リスクの高い地域への訓練実施の呼びかけや防災啓発の場で住民等へ周知を図る。	水害リスクの高い箇所に関して水防団や地域住民との情報共有について	H28年度から順次実施			
2-9	・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	水防活動への重機使用等、建設会社の支援に関する協定の締結について	H28年度から順次実施			
2-11	・水害BCP策定に向けた検討	水害BCP(事業継続計画)の作成について	H32年度	該当なし。	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-12	・洪水や氾濫の特性も考慮した内容の氾濫を想定した対応マニュアルの作成	洪水時の庁舎等の機能確保のための対応マニュアルについて	H32年度	該当なし。	【取組内容】 【取組実施上の課題】	
2-13	・大規模工場等への浸水リスクと水害対策等の周知活動の実施	大規模工場等へ浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動の実施について	H32年度			
2-14	・自衛水防を説明会等により市民へ周知	自治会等の自衛水防に関する周知について	H29年度から順次実施			
(3)一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組み						
3-1 3-2 3-3	・河口に近い特性も考慮した氾濫水を迅速に排水するための、排水施設情報の共有・排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	利根川が決壊による浸水に対する、現状の配置計画の適度な住民避難や早期の社会機能回復の実効について 利根川本川支川の樋門等閉扉による内水被害の発生を懸念している 氾濫水をより迅速に排水するための排水計画の作成について	H32年度			
3-4	・排水計画に基づく排水訓練の実施	排水計画に基づく排水訓練の実施について	H32年度			
■ハード対策の主な取組み						
(1)洪水を河川内で安全に流す対策、危機管理型ハード対策						
4-1	・優先的に実施する堤防整備	優先的に実施する堤防整備について	H32年度			
4-1	・優先的に実施する堤防天端の保護	優先的に実施する堤防天端の保護について	H32年度			
(2)避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備						
4-1	・簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	雨量・水位等の観測データ及び洪水等の状況を把握・伝達するための基盤の整備	H32年度			
1-17	・円滑かつ迅速な避難に資する施設(ハード)整備	住民等への情報伝達手段の整備について	H32年度			
2-10	・迅速な水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材の検討、配備や地域防災計画に基づく水防資機材等の配備、維持管理	利根川下流域の利根川本川の水防活動必要区間延長は長く、限られた水防団員による水防工法においては、簡易または劣化した水防工法が有効と考えます。新技術を活用した水防資機材や、水防資機材の配備について	引き続き実施			
2-15	・氾濫形態に応じた排水施設の耐水化、庁舎等の耐水対策の実施	排水施設の耐水化、庁舎等の重要施設の耐水対策について	H32年度	該当なし。	【取組内容】 【取組実施上の課題】	

具体的な取組の柱
事 項

63/66

具体的な
事項

■ハード対策の主な取り組み

■ハード対策の主な取り組み

1) 洪水を河川内で安全に流す対策、危機管理型ハード対策					
4-1	・優先的に実施する堤防整備	優先的に実施する堤防整備について	H32年度		
4-1	・優先的に実施する堤防天端の保護	優先的に実施する堤防天端の保護について	H32年度		
2) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備					
4-1	・簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	雨量・水位等の観測データ及び洪水等の状況を把握・伝達するための基盤の整備	H32年度		
1-17	・円滑かつ迅速な避難に資する施設(ハード)整備	住民等への情報伝達手段の整備について	H32年度		
2-10	・迅速な水防活動を支援するための手段として活用した水防資機材の検点、配備や地域防災計画に基づいた水防資機材等の配備、維持管理	利根川下流域の利根川本川の水防活動必要区間延長が長く、置かれた水防設備による水防工法においては、簡易または省力化された水防工法が有効と見なす。新技術を活用した水防資機材や、水防資機材の配備について	引き続き実施		
2-15	・氾濫形態に応じた排水施設の耐水化、庁舎の耐水対策の実施	排水施設の耐水化、庁舎等の重要施設の耐水対策について	H32年度		

具体的
事

■ハード対策の主な取り組み

■ハード対策の主な取り組み

1) 洪水を河川内で安全に流す対策、危機管理型ハード対策				
4-1	・優先的に実施する堤防整備	優先的に実施する堤防整備について	H32年度	
4-1	・優先的に実施する堤防天端の保護	優先的に実施する堤防天端の保護について	H32年度	
(2) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備				
4-1	・簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	雨量・水位等の観測データ及び洪水等の状況を把握・伝達するための基盤の整備	H32年度	
1-17	・円滑かつ迅速な避難に資する施設（ハード）整備	住民等への情報伝達手段の整備について	H32年度	簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置を進捗する。【平成28年度～】 【取組内容】 河川水位、洪水予報、ライブ映像等の情報をWEBや報道機関を通じて伝達している。H30年度には危機管理型水位計の設置や新たなCCTVの設置計画を検討する。 【取組実施上の課題】
2-10	・迅速な水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材の検出、在庫や場所の把握計画に基づく防資機材等の配備、維持管理	利根川下流域の利根川本川の水防活動の要区間延長は長く、限られた期間に必要となる水防工法においては、徹底した省力化された水防工法が有効と考えます。新技術を活用した水防資機材や、水防資機材の配備について	引き続き実施	【取組内容】 利根川水系連合・総合水防演習の出展コーナーで新技術を活用した水防資機材を紹介している。新技術を活用した水防資機材に関する国内研修会を主催するほか、課題を抱えている構成員に対する支援方を検討した。 【取組実施上の課題】
2-15	・氾濫形態に応じた排水施設の耐水化、行倉の耐水対策の実施	排水施設の耐水化、行倉等の重要施設の耐水対策について	H32年度	【取組内容】 出張所や排水機場の耐水化を検討し、一部実施。 【取組実施上の課題】